

KUMAMOTO

REHABILITATION

HOSPITAL

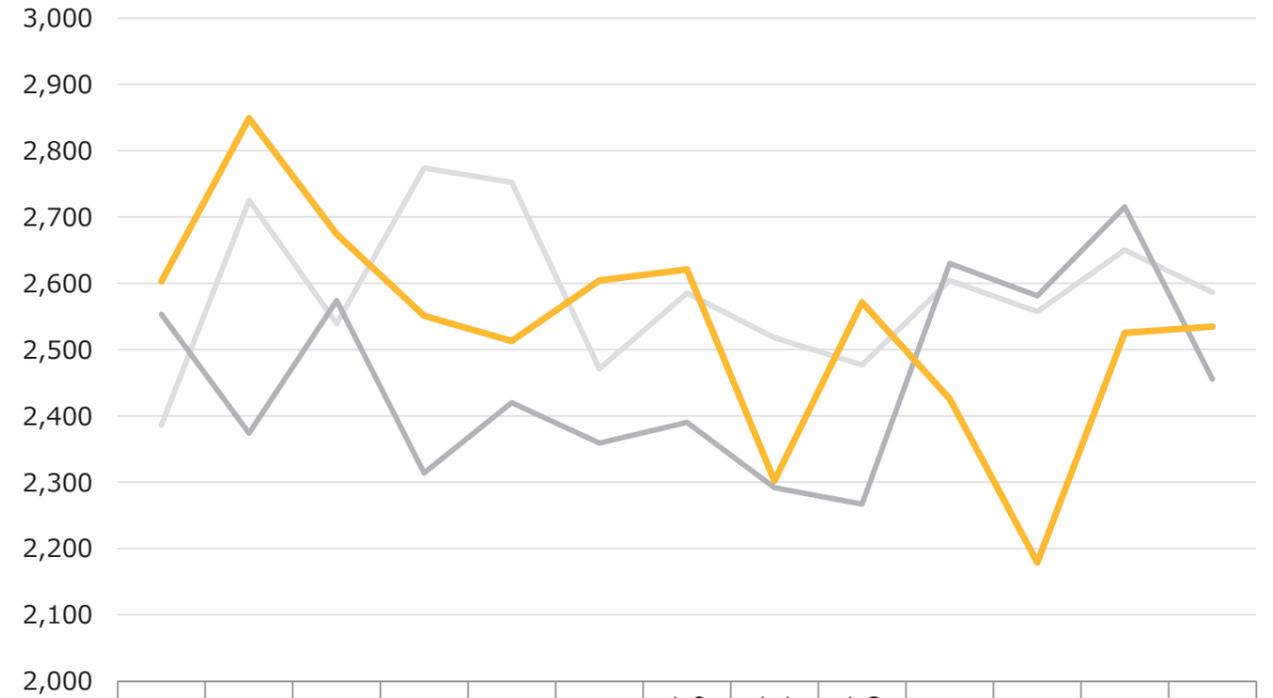
Annual Report

2018.4.1 ▶ 2019.3.31

平成30年度実績

入院患者延べ日数（一般病棟）

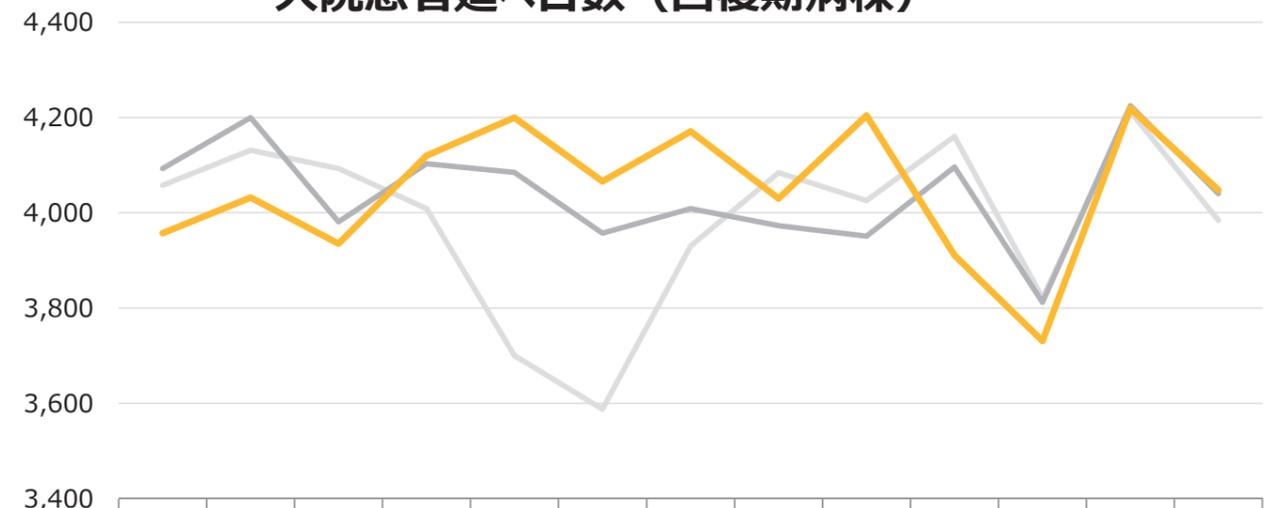
(単位：人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	2,386	2,725	2,539	2,774	2,752	2,471	2,585	2,518	2,477	2,604	2,557	2,650	2,587
H29実績	2,553	2,374	2,574	2,314	2,420	2,359	2,390	2,292	2,267	2,630	2,581	2,715	2,456
H30実績	2,603	2,849	2,674	2,551	2,513	2,604	2,621	2,302	2,571	2,426	2,179	2,525	2,535

入院患者延べ日数（回復期病棟）

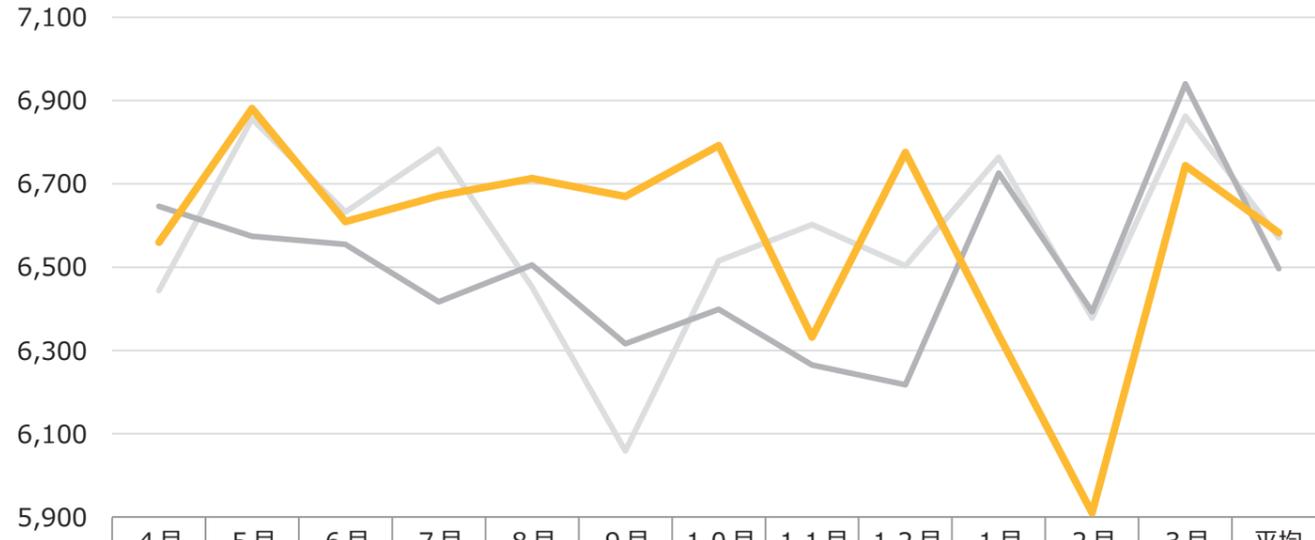
(単位：人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	4,058	4,131	4,093	4,009	3,700	3,588	3,930	4,084	4,026	4,160	3,821	4,212	3,984
H29実績	4,093	4,200	3,981	4,103	4,085	3,957	4,009	3,973	3,951	4,096	3,812	4,225	4,040
H30実績	3,957	4,032	3,935	4,120	4,200	4,066	4,171	4,030	4,204	3,911	3,731	4,219	4,048

入院患者延べ日数（全体）

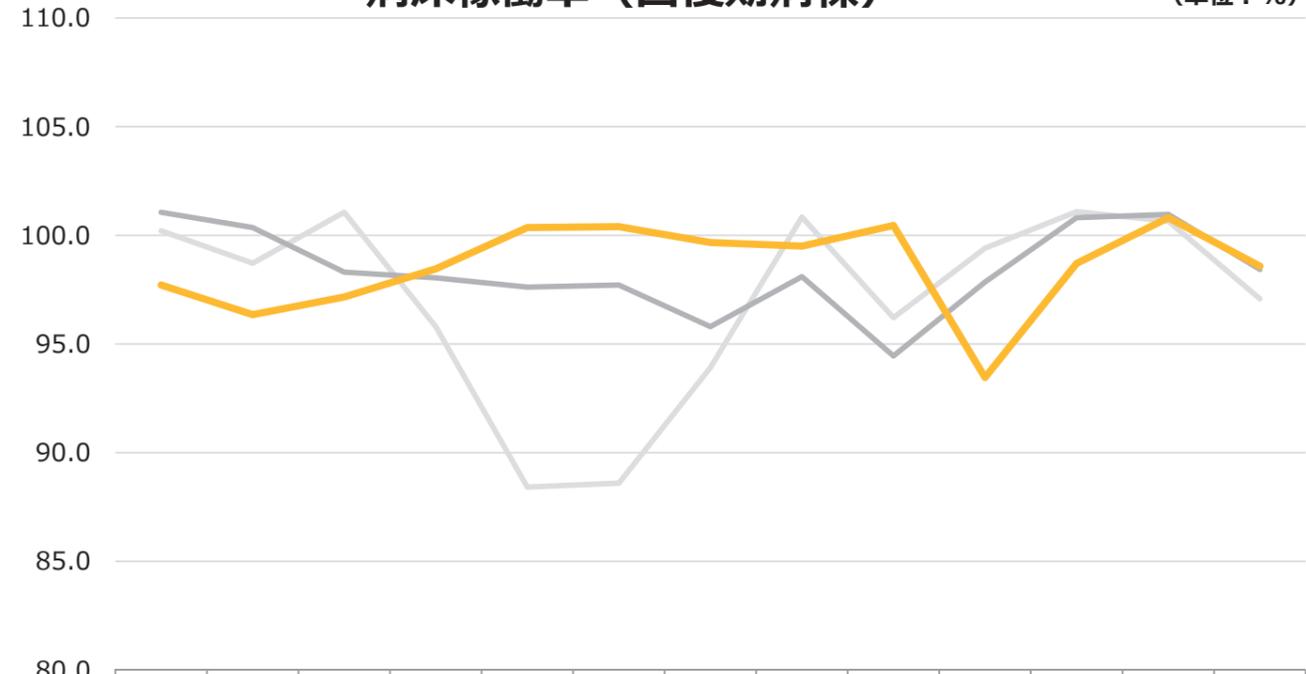
（単位：人）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	6,444	6,856	6,632	6,783	6,452	6,059	6,515	6,602	6,503	6,764	6,378	6,862	6,571
H29実績	6,646	6,574	6,555	6,417	6,505	6,316	6,399	6,265	6,218	6,726	6,393	6,940	6,496
H30実績	6,560	6,881	6,609	6,671	6,713	6,670	6,792	6,332	6,775	6,337	5,910	6,744	6,583

病床稼働率（回復期病棟）

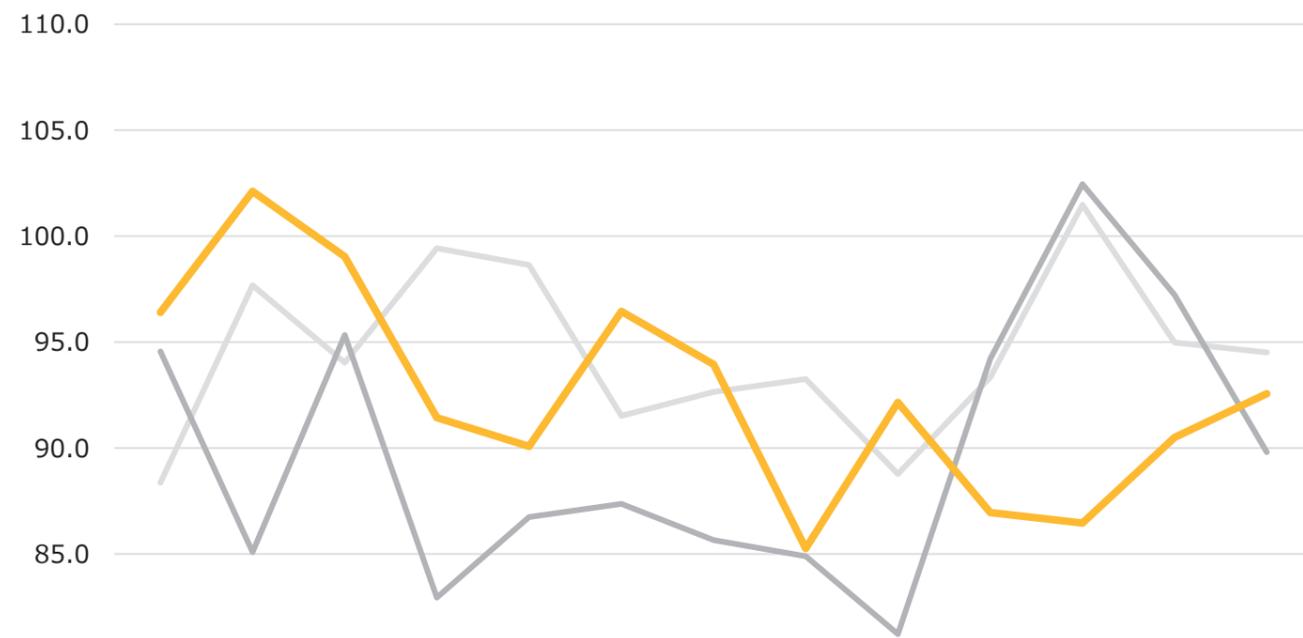
（単位：％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	100.2	98.7	101.1	95.8	88.4	88.6	93.9	100.8	96.2	99.4	101.1	100.6	97.1
H29実績	101.1	100.4	98.3	98.0	97.6	97.7	95.8	98.1	94.4	97.9	100.8	101.0	98.4
H30実績	97.7	96.3	97.2	98.4	100.4	100.4	99.7	99.5	100.5	93.5	98.7	100.8	98.6

病床稼働率（一般病棟）

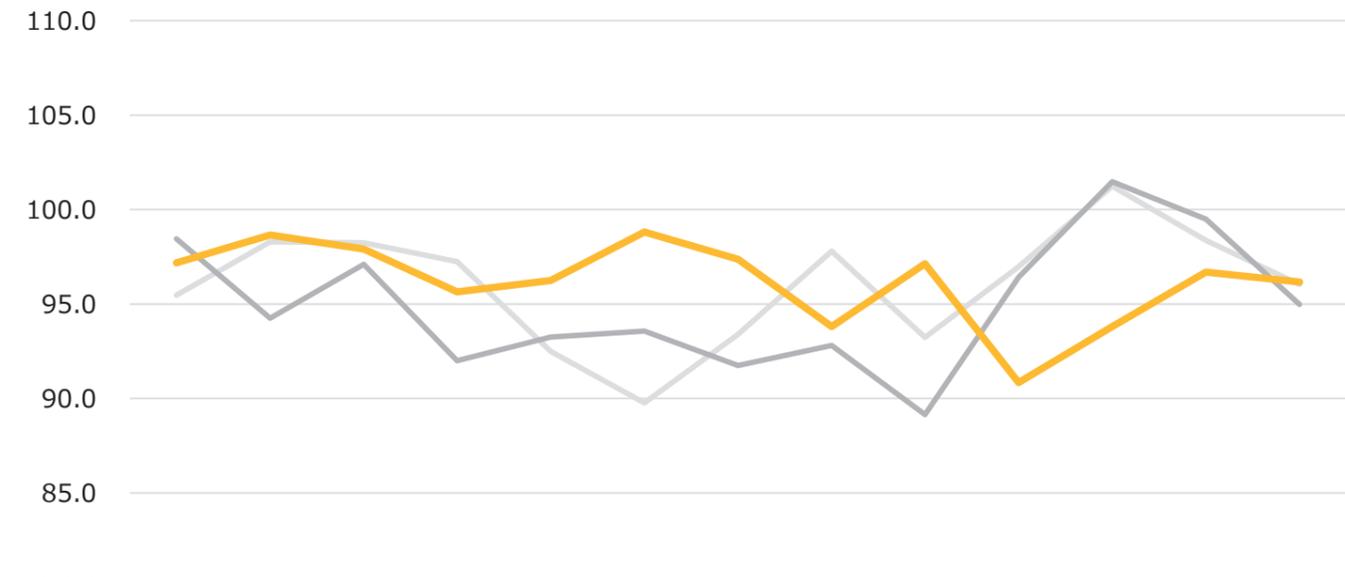
（単位：％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	88.4	97.7	94.0	99.4	98.6	91.5	92.7	93.3	88.8	93.3	101.5	95.0	94.5
H29実績	94.6	85.1	95.3	82.9	86.7	87.4	85.7	84.9	81.2	94.2	102.4	97.2	89.8
H30実績	96.4	102.1	99.0	91.4	90.1	96.4	93.9	85.3	92.2	87.0	86.5	90.5	92.6

病床稼働率（全体）

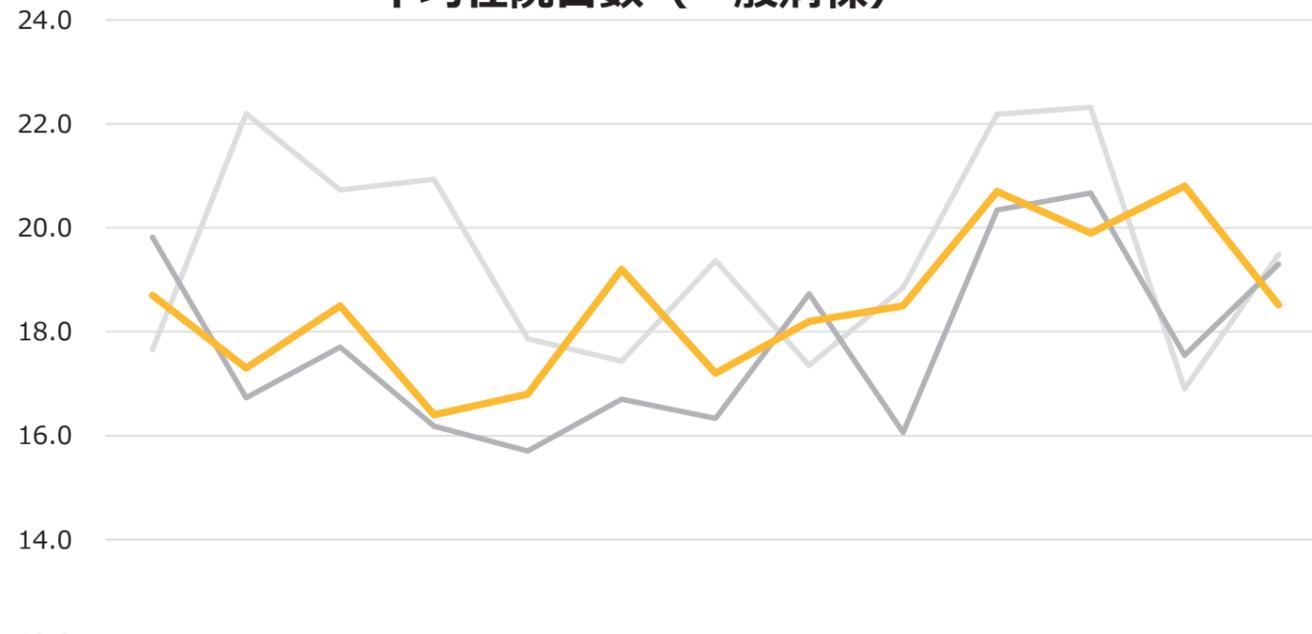
（単位：％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	95.5	98.3	98.3	97.2	92.5	89.8	93.4	97.8	93.2	97.0	101.2	98.4	96.0
H29実績	98.5	94.3	97.1	92.0	93.3	93.6	91.7	92.8	89.1	96.4	101.5	99.5	95.0
H30実績	97.2	98.7	97.9	95.6	96.2	98.8	97.4	93.8	97.1	90.9	93.8	96.7	96.2

平均在院日数（一般病棟）

(単位：日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	17.7	22.2	20.7	20.9	17.9	17.4	19.4	17.4	18.8	22.2	22.3	16.9	19.5
H29実績	19.8	16.7	17.7	16.2	15.7	16.7	16.3	18.7	16.1	20.3	20.7	17.5	19.3
H30実績	18.7	17.3	18.5	16.4	16.8	19.2	17.2	18.2	18.5	20.7	19.9	20.8	18.5

平均在院日数（全体）

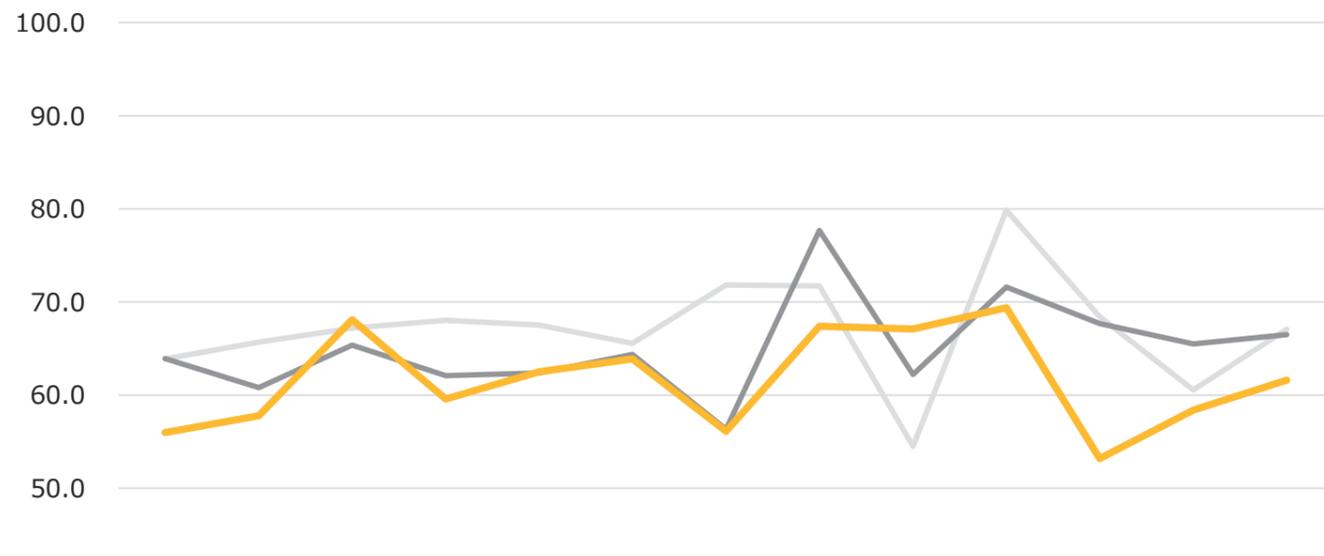
(単位：日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	45.1	55.2	52.9	47.3	40.2	41.2	48.3	45.3	47.9	47.7	51.7	45.4	47.4
H29実績	48.9	47.7	45.3	44.2	42.1	43.8	43.8	51.2	43.8	52.5	51.0	44.3	46.5
H30実績	43.5	40.3	45.7	41.4	46.4	47.5	43.5	48.7	42.7	51.0	46.3	47.2	45.4

平均在院日数（回復期病棟）

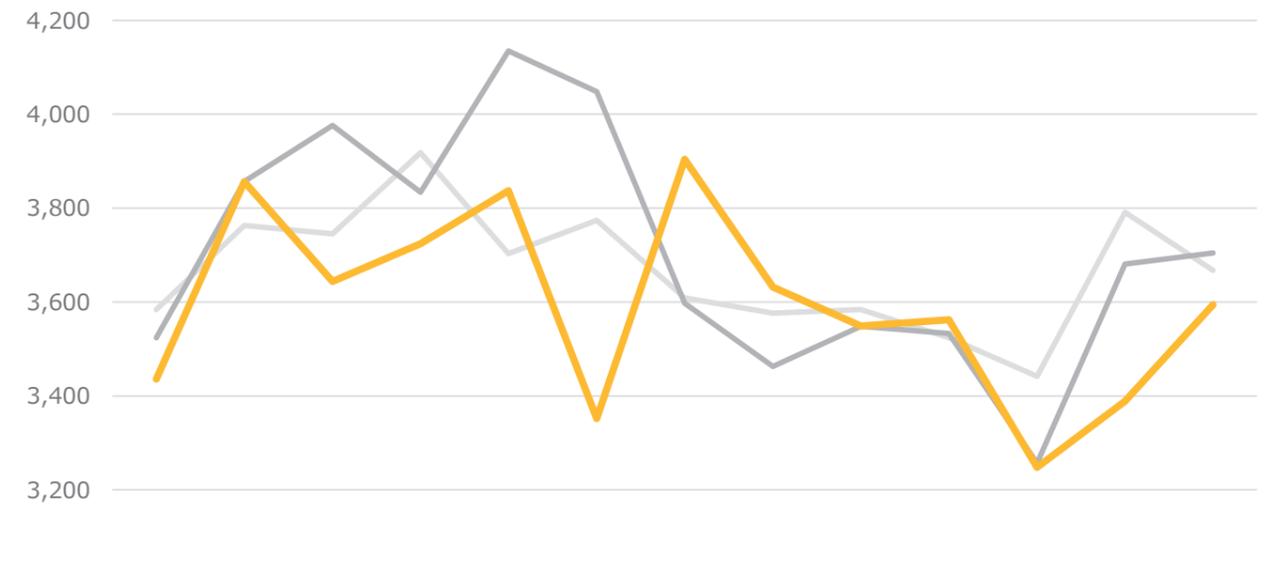
(単位：日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	63.9	65.7	67.2	68.1	67.5	65.6	71.8	71.7	54.5	79.9	68.4	60.5	67.1
H29実績	63.9	60.8	65.4	62.1	62.4	64.4	56.3	77.7	62.2	71.6	67.7	65.5	66.5
H30実績	56.0	57.8	68.1	59.6	62.5	63.9	56.1	67.4	67.1	69.4	53.2	58.4	61.6

外来患者数推移

(単位：人)

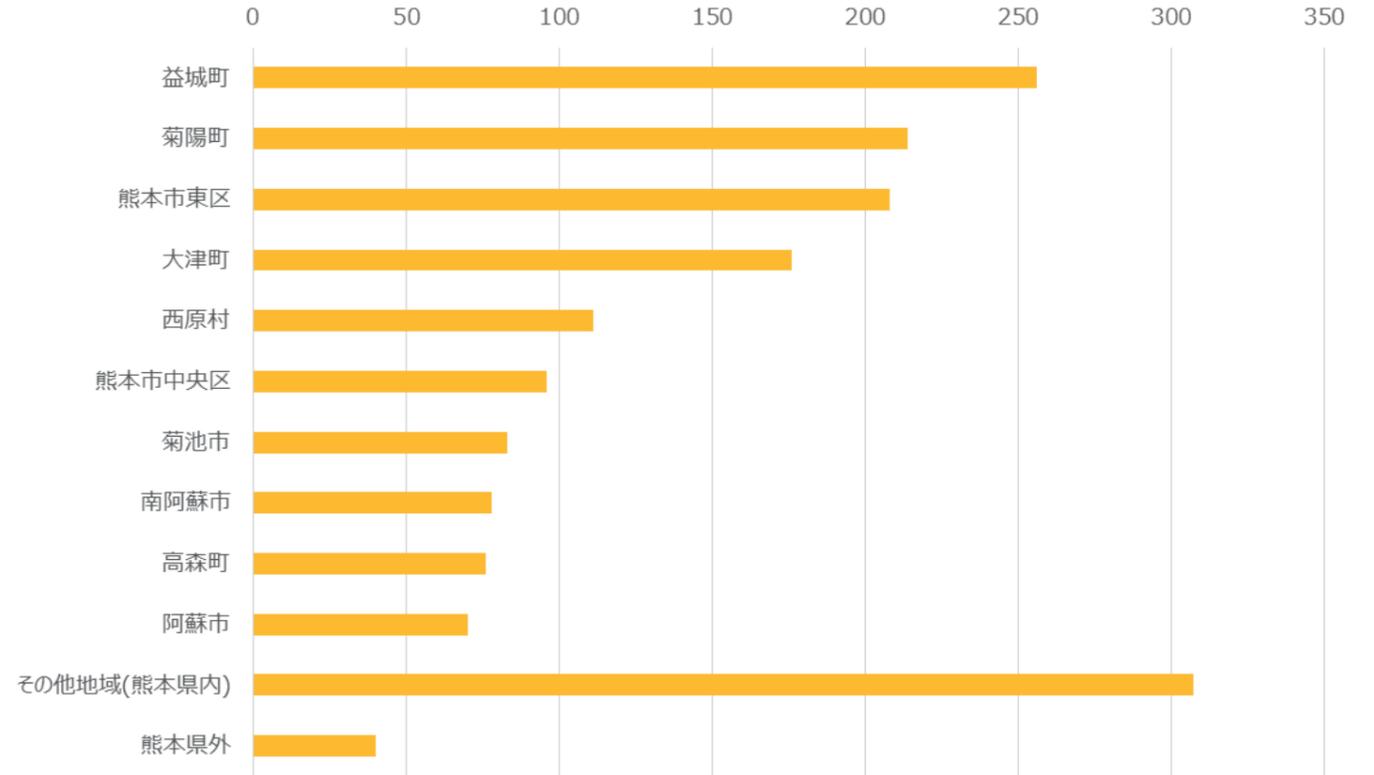


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H28実績	3,584	3,763	3,745	3,918	3,703	3,774	3,609	3,576	3,584	3,524	3,442	3,791	3,668
H29実績	3,524	3,857	3,976	3,834	4,135	4,048	3,597	3,463	3,548	3,533	3,257	3,681	3,704
H30実績	3,436	3,856	3,644	3,724	3,837	3,352	3,904	3,632	3,549	3,562	3,248	3,389	3,594

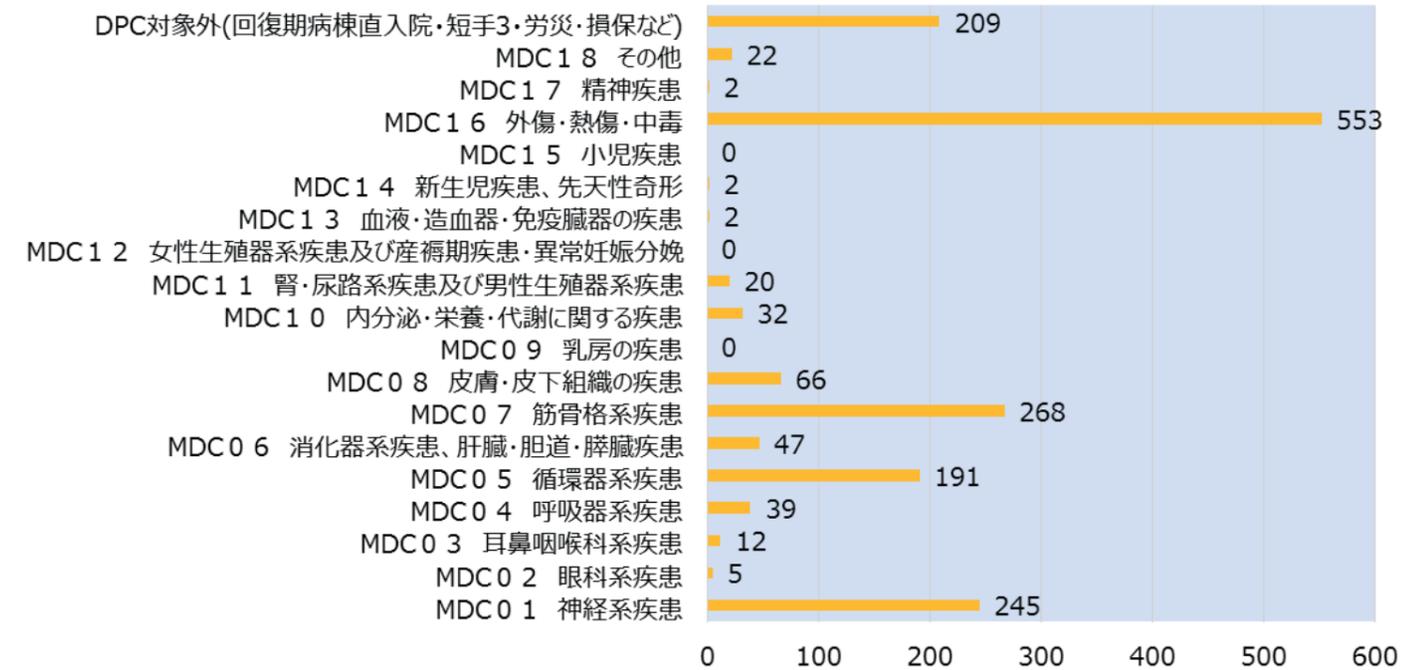
MDC6桁分類別疾患数上位30（平成30年度退院患者）

	MDC6	MDC6名称	件数	構成比率
1	10060	脳梗塞	149	9.1%
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	127	7.8%
3	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	116	7.1%
4	50170	閉塞性動脈疾患	64	3.9%
5	070230	膝関節症(変形性を含む)	62	3.8%
6	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	56	3.4%
7	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	55	3.4%
8	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	47	2.9%
9	160650	コンパートメント症候群	46	2.8%
10	50180	静脈・リンパ管疾患	46	2.8%
11	50130	心不全	45	2.7%
12	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	33	2.0%
13	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	31	1.9%
14	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	30	1.8%
15	160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	30	1.8%
16	160980	骨盤損傷	27	1.6%
17	100100	糖尿病足病変	24	1.5%
18	160610	四肢筋腱損傷	24	1.5%
19	80010	膿皮症	24	1.5%
20	040080	肺炎等	23	1.4%
21	070350	椎間板変性、ヘルニア	23	1.4%
22	10020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	23	1.4%
23	160760	前腕の骨折	20	1.2%
24	80250	褥瘡潰瘍	19	1.2%
25	070071	骨髄炎(上肢以外)	16	1.0%
26	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	15	0.9%
27	160835	下腿足関節周辺の骨折	15	0.9%
28	180060	その他の新生物	14	0.9%
29	070160	上肢末梢神経麻痺	14	0.9%
30	160620	肘、膝の外傷(スポーツ障害等を含む)	14	0.9%

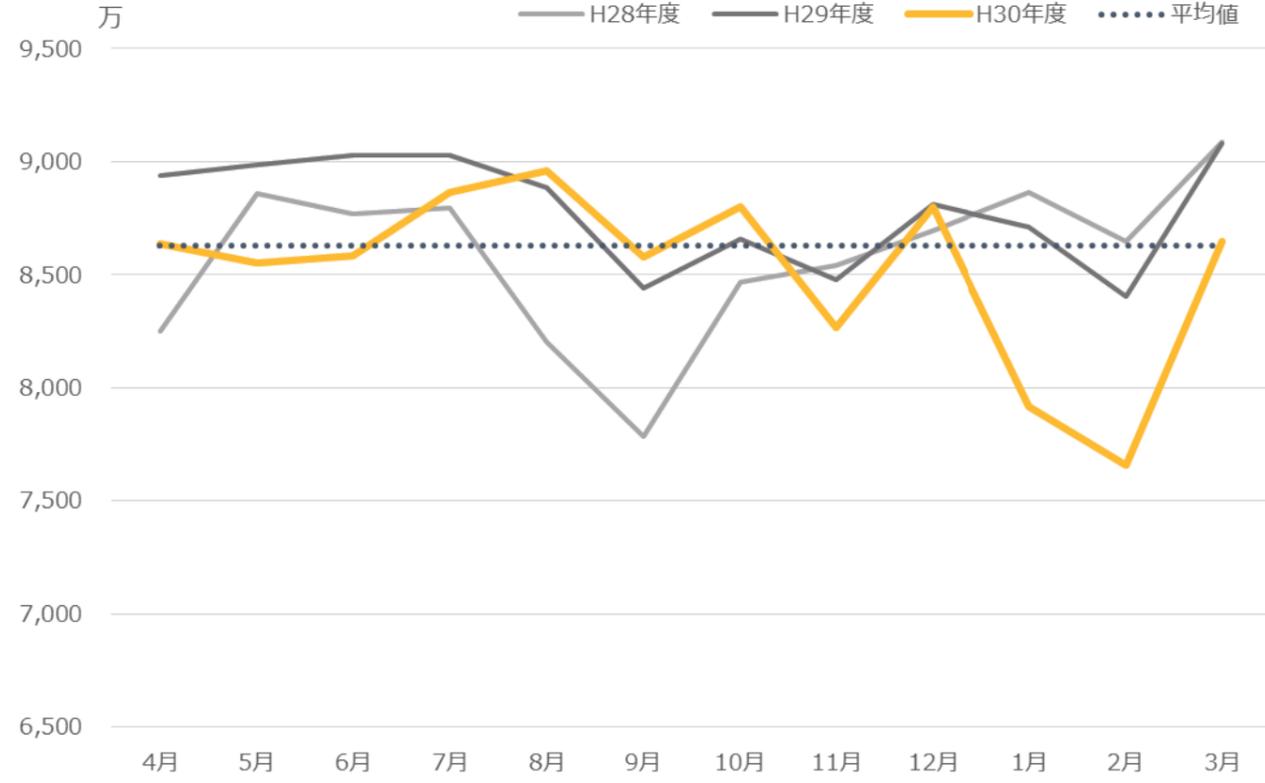
平成30年度退院患者地区統計



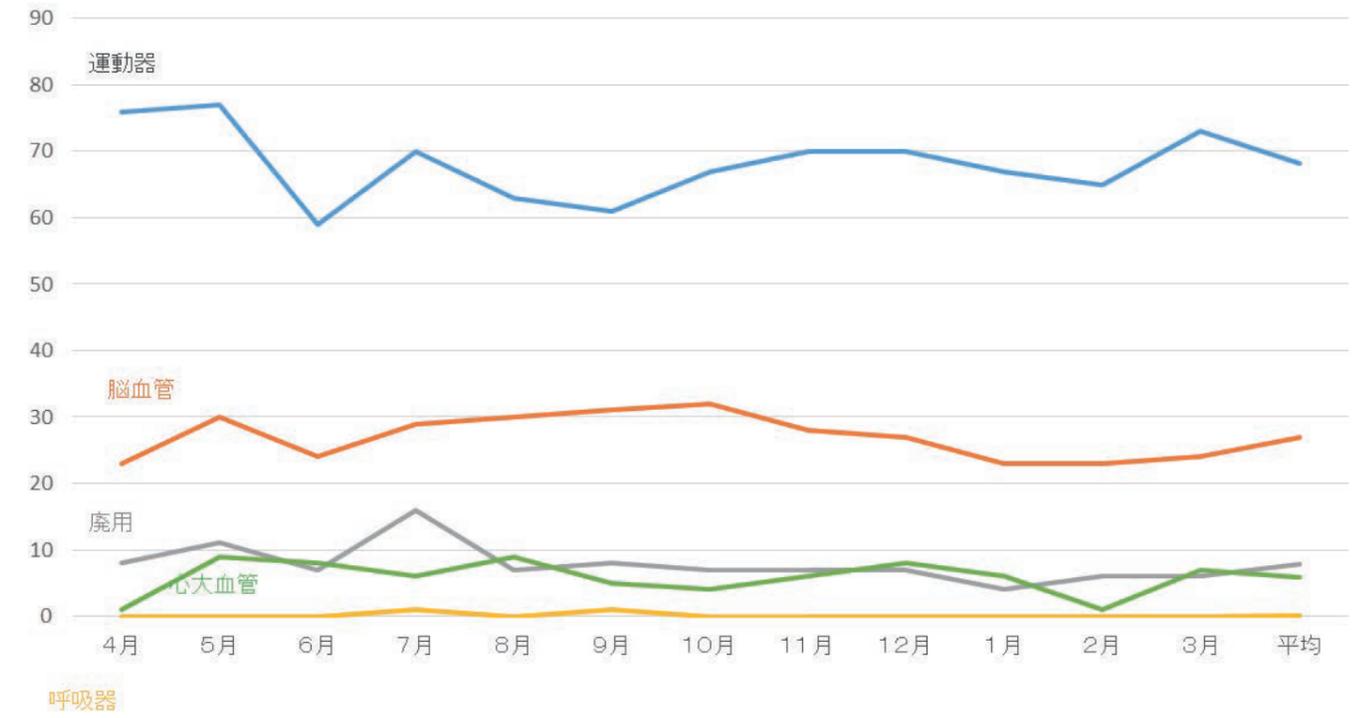
H30年度MDC2別退院患者数



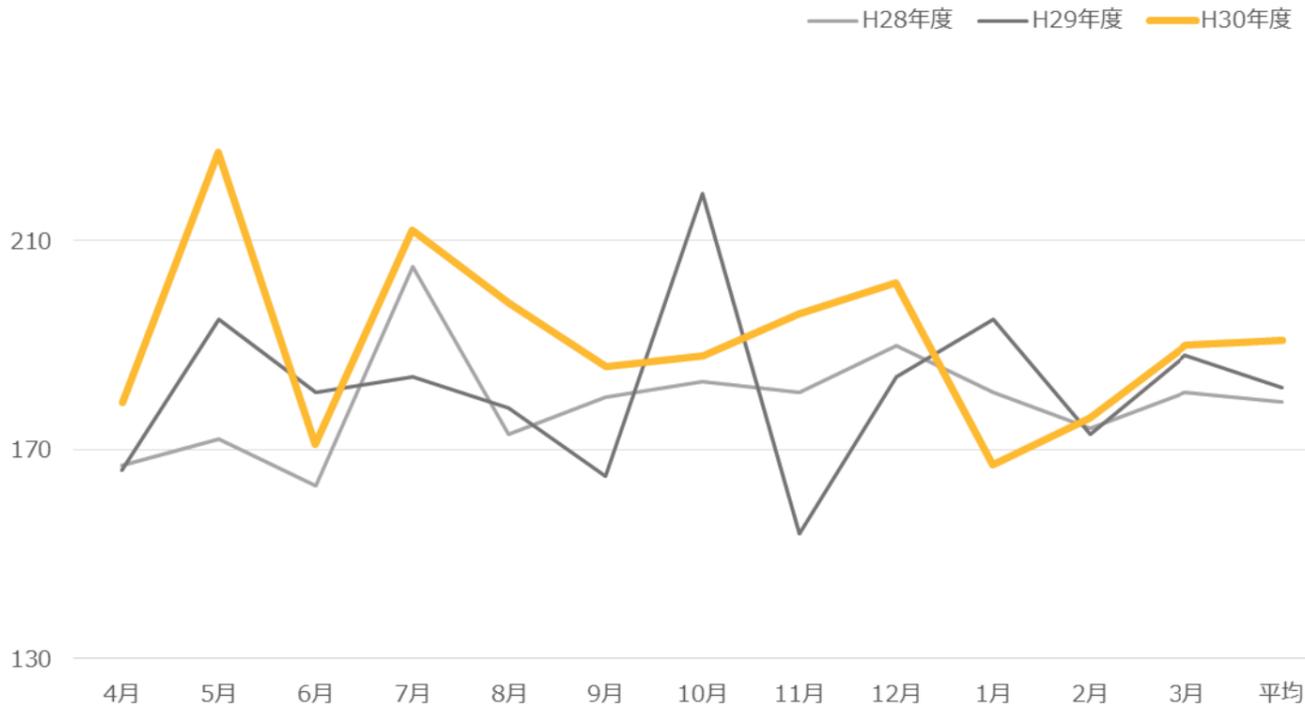
リハ実績



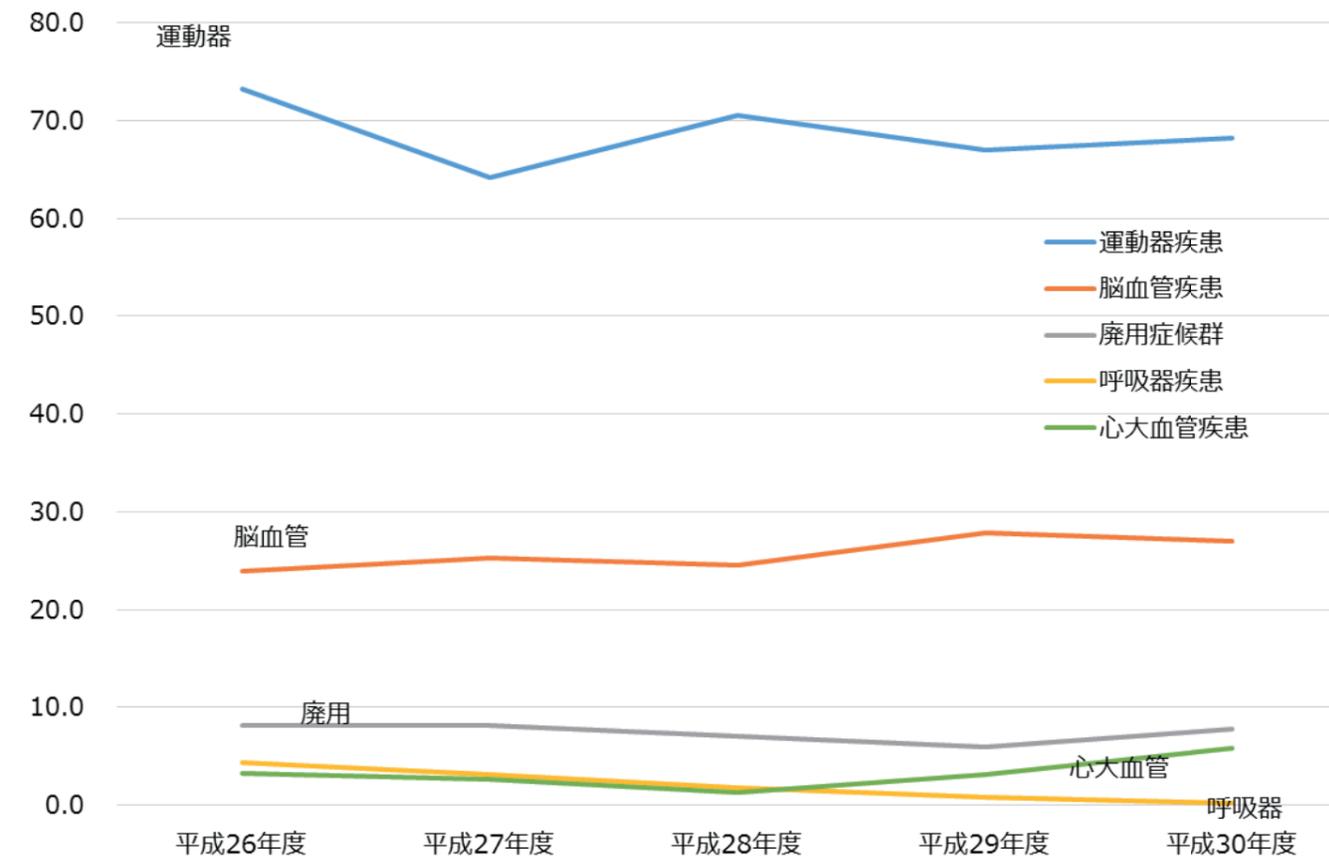
平成30年度疾患別リハ処方数（患者数）



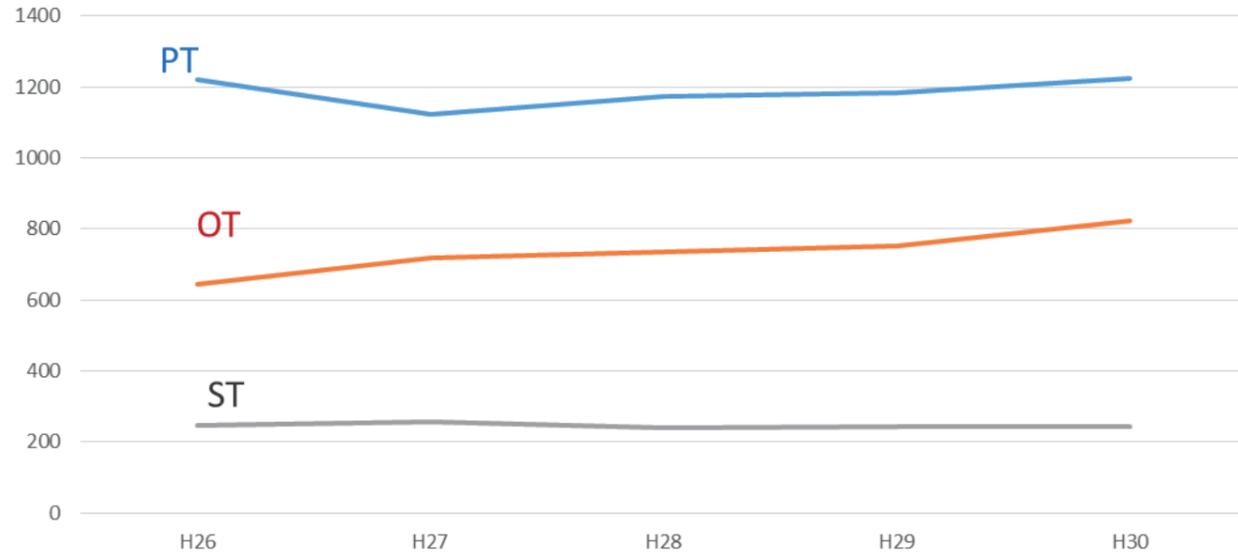
処方箋数 推移（PTOTST総数）



疾患別リハ処方数 月平均（5年間）



入院リハビリ処方箋総数（PT・OT・ST）：5年間



当院の回復期リハビリ病棟（H29/H30比較）

退院患者数 n=728

平成29年度	総数	脳血管疾患等	整形外科系疾患	廃用症候群
件数	695	223	420	15
平均年齢	72.1	68.4	74.3	76.4
性別 M/F	270/425	121/102	117/303	8/7
平均在院日数	78.6	97.7	72.3	54.9
在宅復帰率	88.2%	79.8%	91.4%	93.9%
自宅退院率	83.0%	74.4%	86.0%	86.7%
入院時FIM				
①平均	78.6	67.6	82.0	88.5
②中央値	83.0	70.0	86.0	110.0
③標準偏差	32.1	34.1	29.6	39.3
退院時FIM				
①平均	105.4	95.1	109.6	100.7
②中央値	119.0	110.5	120.0	115.0
③標準偏差	27.8	34.7	22.5	32.9
FIM利得				
①平均	26.8	27.6	27.4	12.2
②中央値	22.0	25.0	22.0	9.0
③標準偏差	19.7	20.9	20.3	10.4
FIM効率	0.341	0.282	0.379	0.222

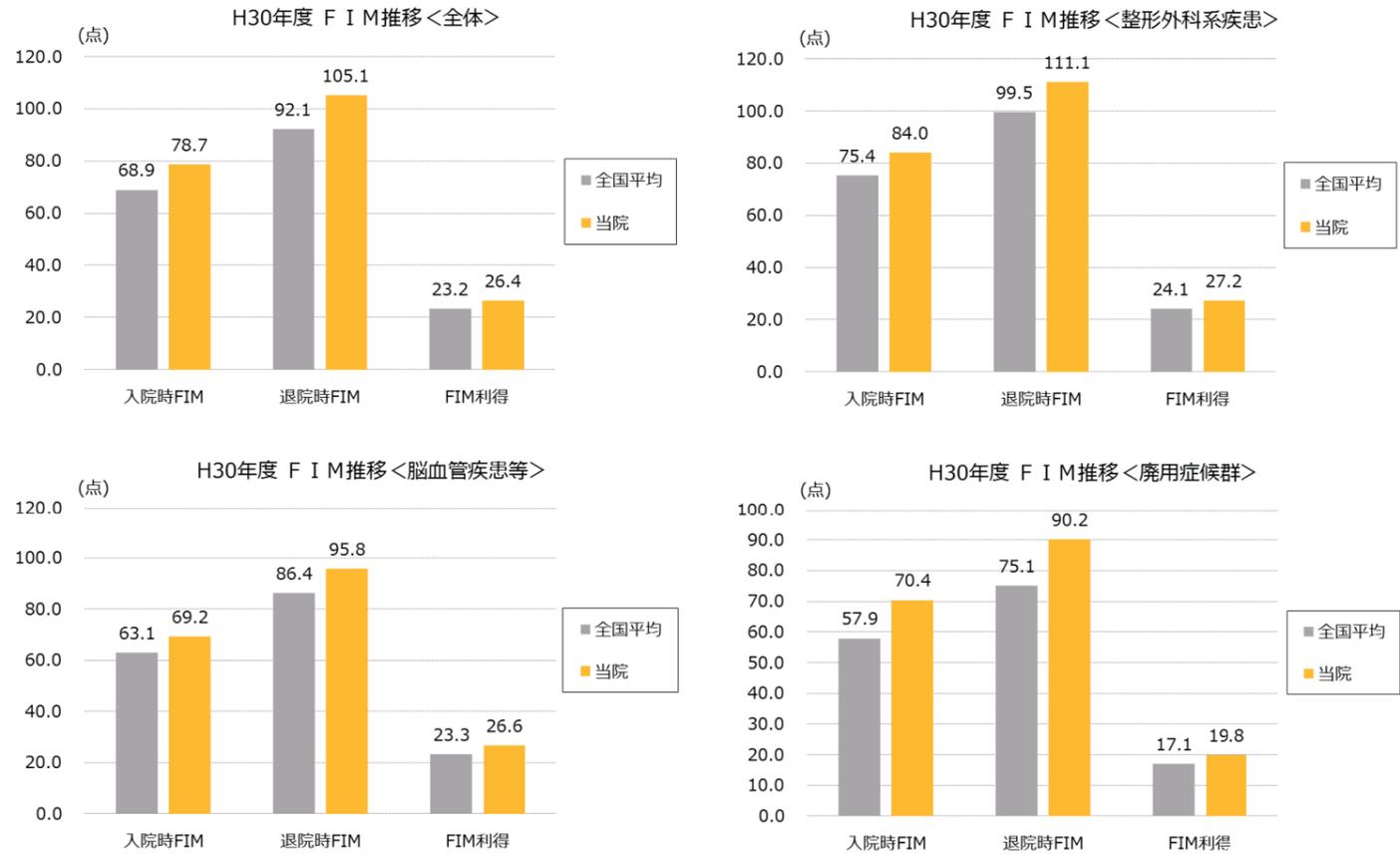
退院患者数 n=775

平成30年度	総数	脳血管疾患等	整形外科系疾患	廃用症候群
件数	716	270	400	19
平均年齢	72.9	71.6	73.7	74.8
性別 M/F	275/441	147/123	105/295	9/10
平均在院日数	73.9	86.6	67.8	66.6
在宅復帰率	88.1%	81.1%	92.8%	84.2%
自宅退院率	80.7%	72.2%	85.8%	84.2%
入院時FIM				
①平均	78.7	69.2	84.0	70.4
②中央値	82.0	69.0	87.0	68.0
③標準偏差	31.1	34.3	27.3	34.3
退院時FIM				
①平均	105.1	95.8	111.1	90.2
②中央値	118.0	111.0	120.0	97.0
③標準偏差	27.2	33.5	19.7	34.9
FIM利得				
①平均	26.4	26.6	27.2	19.8
②中央値	20.5	20.5	22.0	19.0
③標準偏差	19.8	21.0	19.5	12.9
FIM効率	0.357	0.307	0.401	0.297

- ※ 回復期病棟対象外患者は除外
- ※ 急性期医療機関へ転院患者は除外
- ※ 死亡退院は除外
- ※ 在宅復帰率はその他施設を含む
- ※ 脳血管疾患等 = 脳卒中+脳血管その他
- ※ 整形疾患 = 骨折+人工関節置換術後

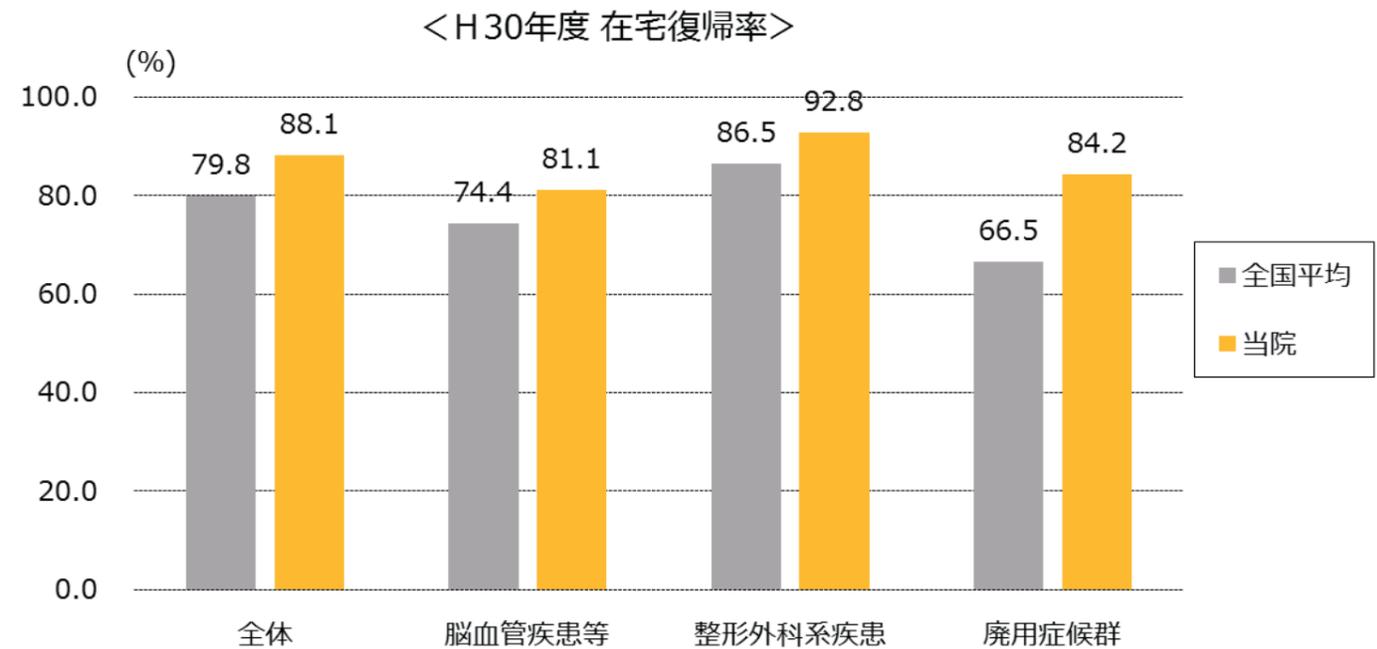
全国回復期リハビリ病棟とのFIM比較（平成30年度）

※全国平均データは、回復期リハビリ病棟協会調査報告書より抜粋

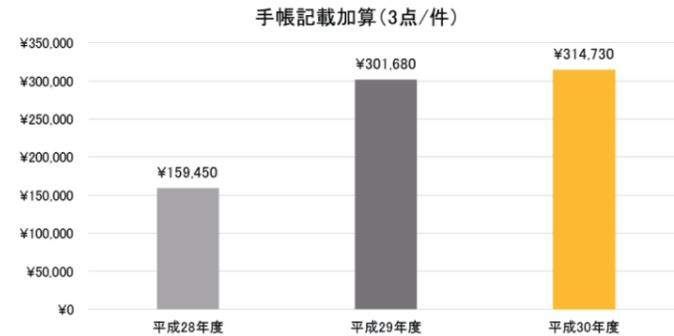
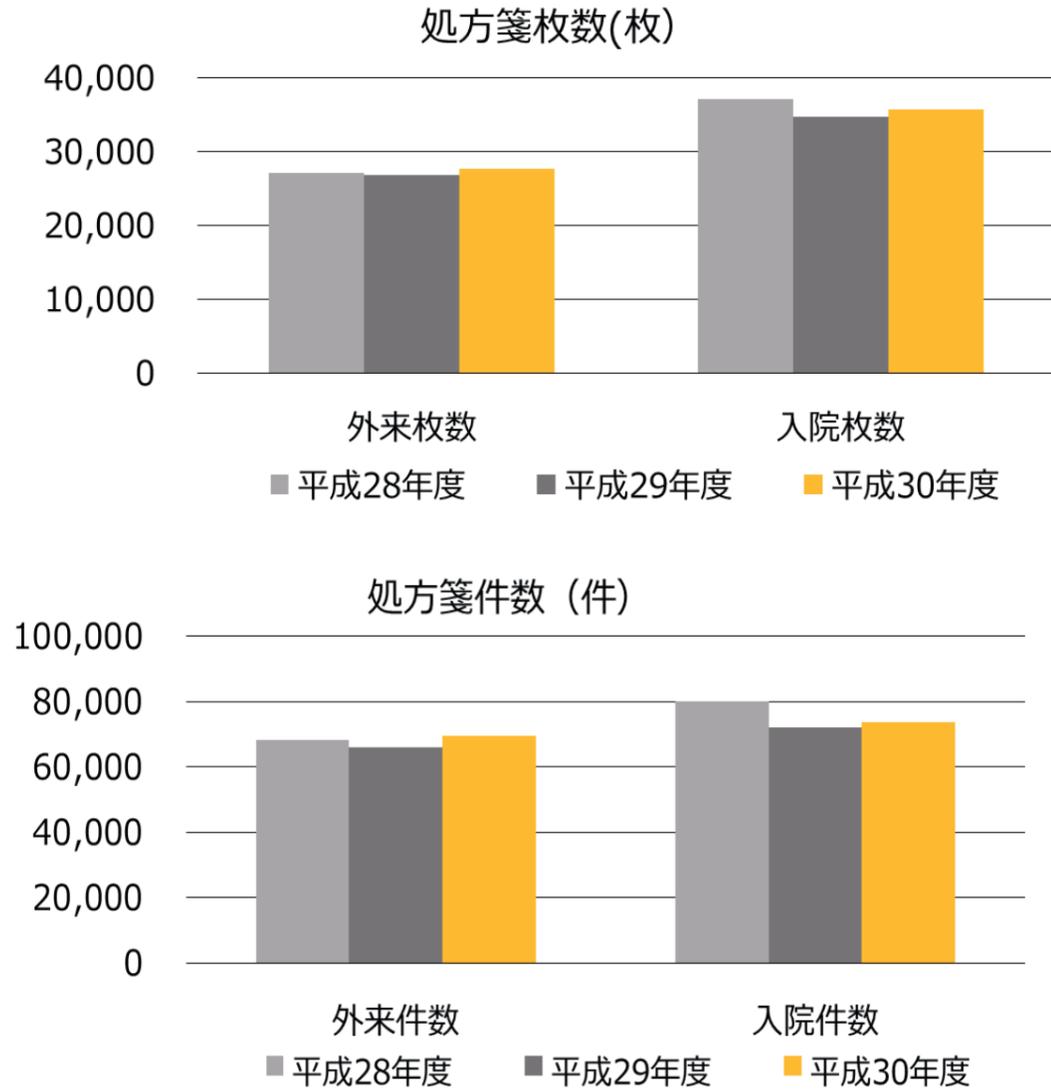


平成30年度 全国回復期リハビリ病棟との在宅復帰率の比較

※全国平均データは、回復期リハビリ病棟協会調査報告書より抜粋



薬剤部実績

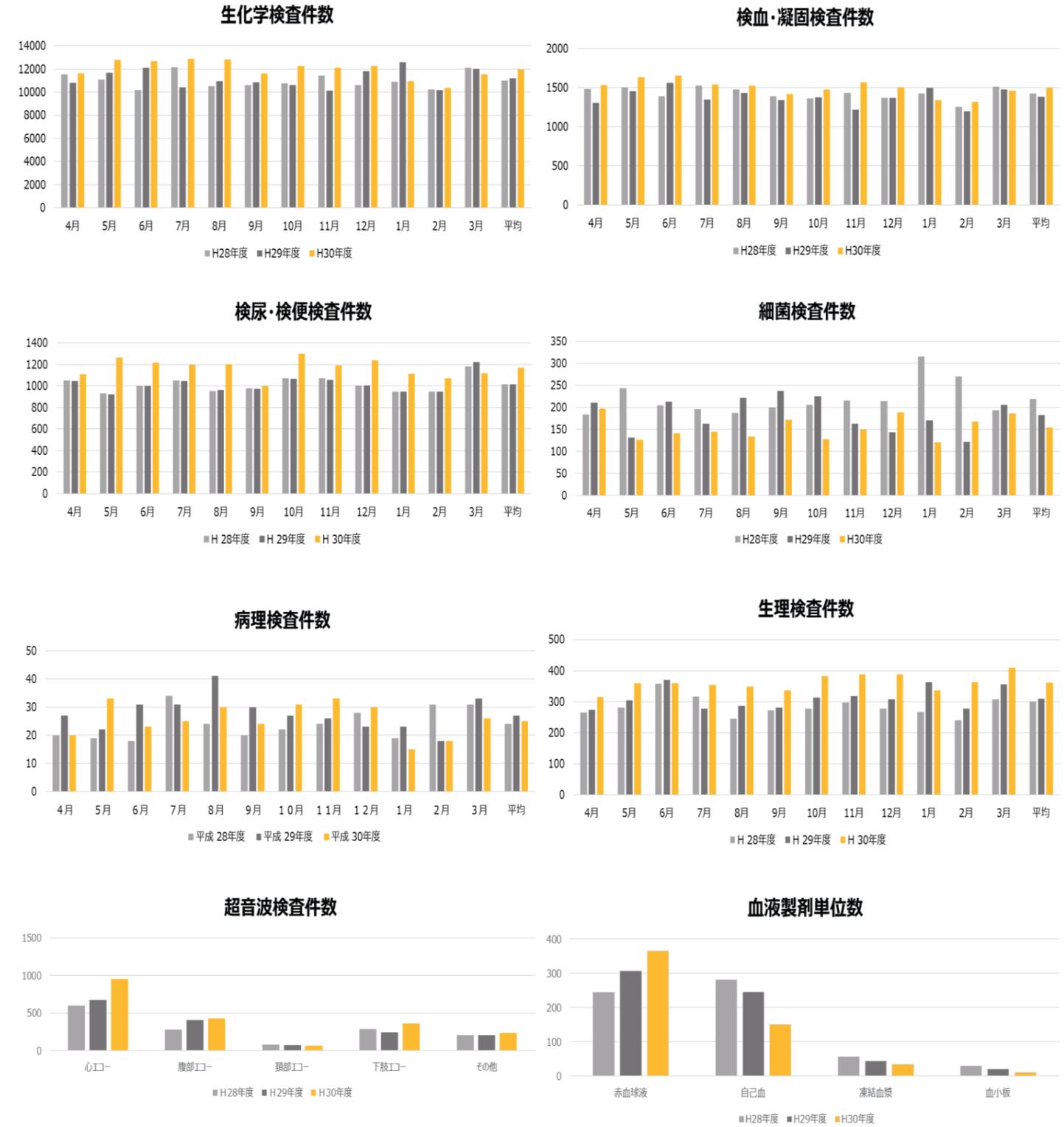


薬剤管理指導金額は、過去5年間の中で最も低い結果となった。その要因として、薬剤師不足によるものが考えられた。

お薬手帳記載加算に関しては、3月は外来の院外化により加算はなかったものの、平成30年度が過去5年間で最も高く算定することができた。

3月からの当院外来の院外処方化に伴い、平成30年度は医薬品購入金額・薬価ベースでの使用金額ともに過去5年間で最も少なかった。

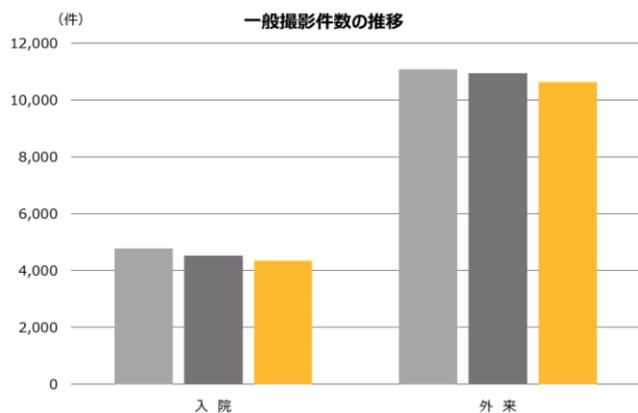
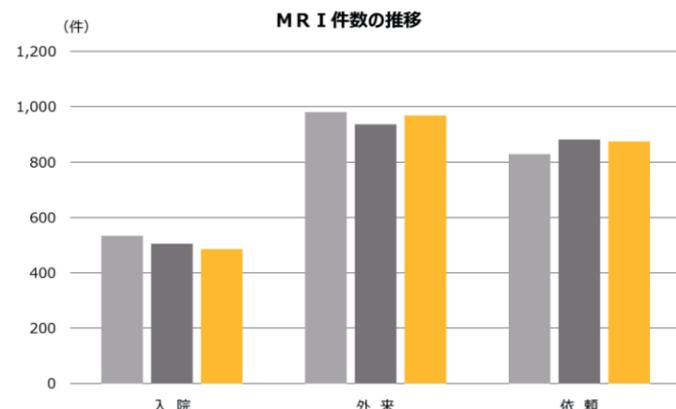
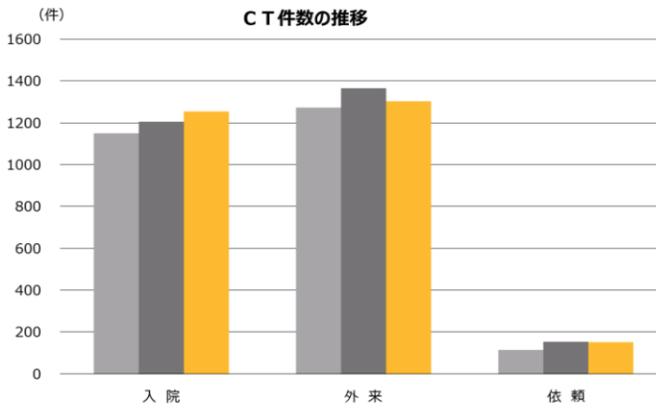
検査部実績



前年度と比べ、生化学検査107%、血液・凝固検査115%、生理学検査116%、超音波検査127.8%と増加し、細菌検査84%、病理検査93%と減少した。
生理検査では心電図が+448件、ホルター心電図が+141件増加し、超音波検査では心エコー件数が+284件と大幅に増加している。
循環器科の検査依頼の増加によるものと考えられる。

放射線部実績

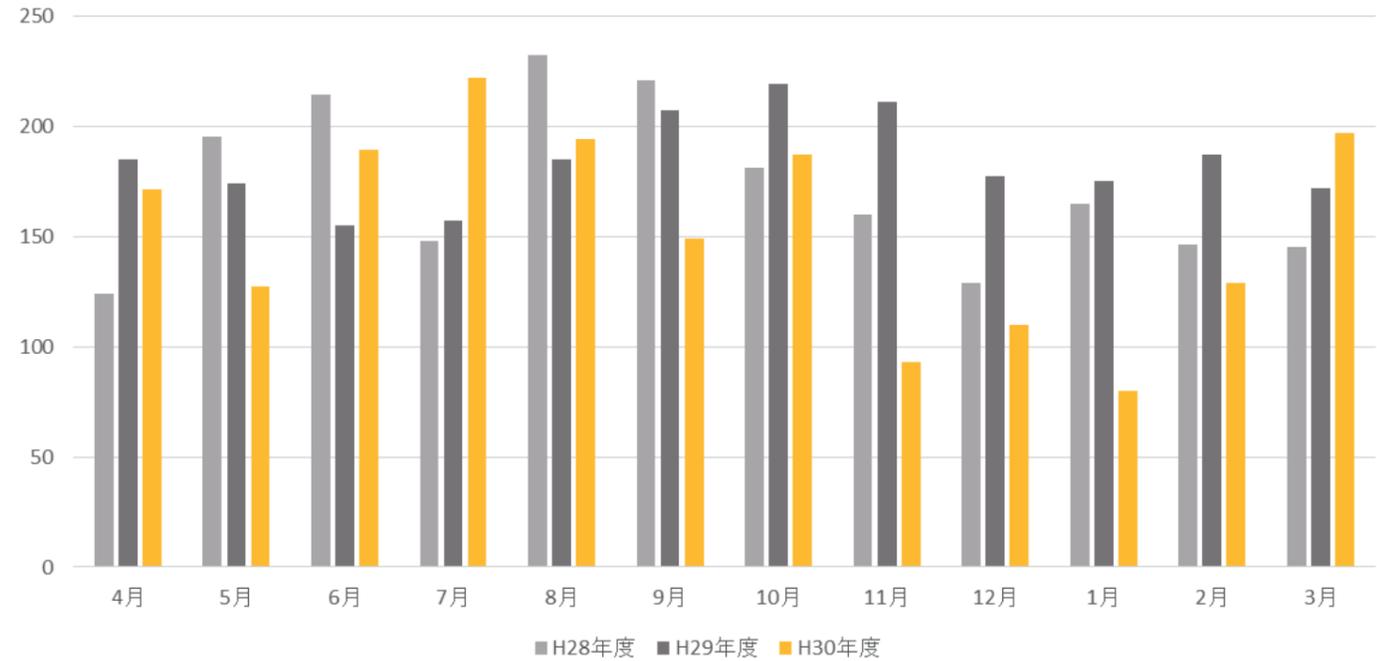
		H28年度	H29年度	30年度	対前年比 (%)
CT	入院	1,150	1,204	1,253	104
	外来	1,273	1,365	1,303	95
	依頼	115	154	150	97
	(造影)	12	27	14	52
	合計	2,538	2,723	2,706	99
MRI	入院	533	505	486	96
	外来	981	936	968	103
	依頼	828	882	874	99
	合計	2,342	2,323	2,328	100
透視	造影	152	158	170	108
一般	入院	4,779	4,529	4,343	96
	外来	11,079	10,933	10,637	97
	依頼	0	0	0	
	合計	15,858	15,462	14,980	97
健診		773	786	765	97
骨密度		301	270	276	102
血管造影		63	48	62	129
総件数		22,027	21,770	21,287	98



平成29年度と比較して、平成30年度のCT,MRIの検査件数は、ほぼ同数であった。
MRIの他施設からの依頼率も平成29年度39%、平成30年度38.6%とほぼ変化なかった。
一般撮影は、約500件減少したが、血管造影検査は、昨年度より23件増加して62件となり、平成28年度の水準まで復活した。

臨床工学部実績 (高気圧酸素療法)

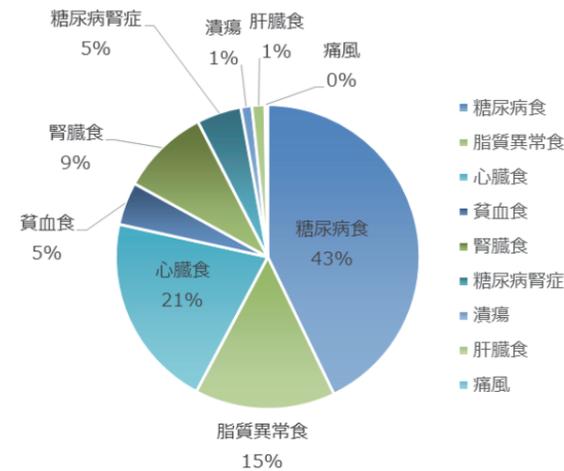
高気圧酸素治療室実績年度別推移



大まかな保険請求目標(¥5,000万)は達成している。
査定が厳しくなることも予想され、月変動はあって当然として例年通りのオーダー依頼を受けていた。
やや変動幅は大きかったようで年間治療件数としては昨年比15%減となっている。

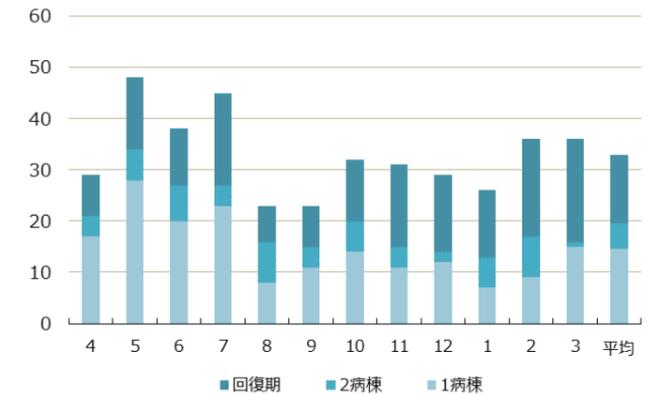
栄養管理部実績

平成30年度平均特別食内訳



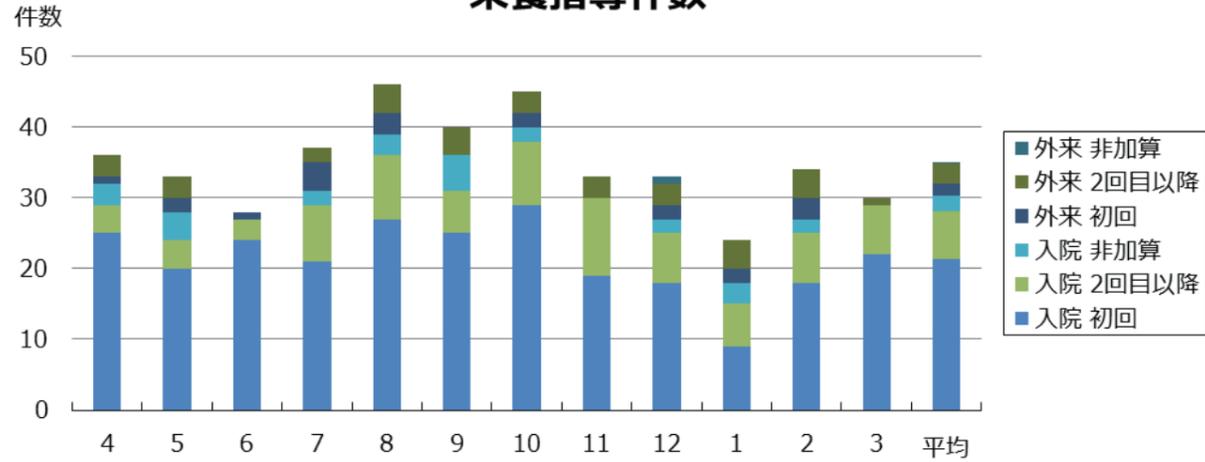
これまで特別食加算は、濃厚流動食が算定可能であった平成27年が最多で6,023,556円であった。
平成28年より濃厚流動食は特別食算定除外されたが、除外後の平成30年度は歴代最多となった。

NST実施件数



NST件数は平成29年度より増加した。
1病棟は形成中心、2病棟は内科や整形の食欲不振患者、回復期は嚥下障害や食思低下が主な介入であった。
P I C Cを導入し、栄養確保する症例も増えつつある。

栄養指導件数



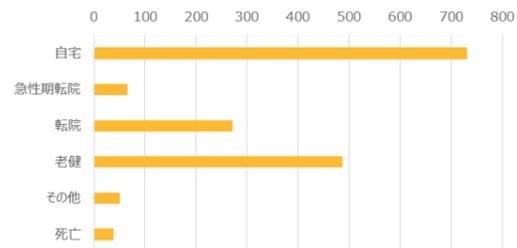
積極的栄養指導実施できた一方、病棟担当管理栄養士の育成ができなかった。
今後 栄養指導の維持・増加のためには管理栄養士の育成も必要である。

- 糖尿病改善率(回復期)・・・87.3%
- 脂質異常症改善率(回復期)・・・57.5%
- 貧血改善率・・・97.1%
- 低栄養改善率(回復期)・・・73.5%
- 3食経口摂取移行率(回復期)・・・69.4%

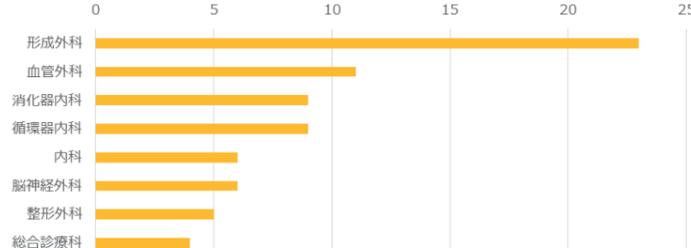
平成30年度 患者食事満足度調査・・・80/100点以上満足患者 88%

地域連携部

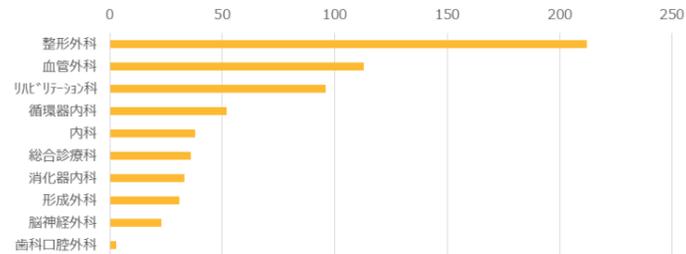
一般病棟退院先内訳



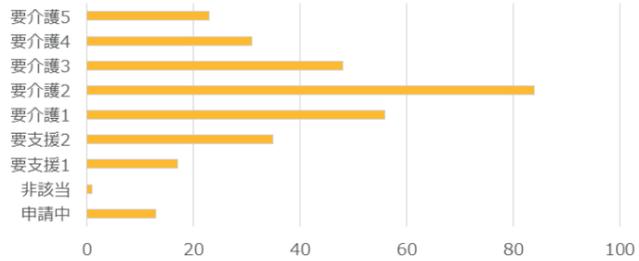
一般病棟 診療科別 転院・入所数



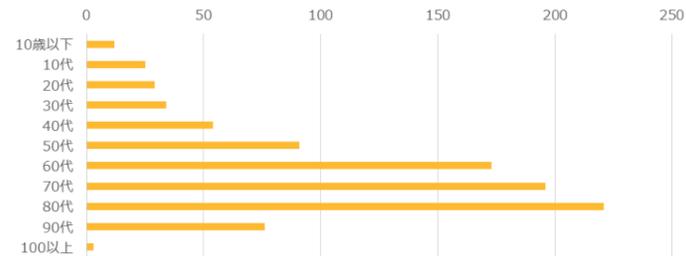
一般病棟診療科別 自宅・その他居宅系施設退院数



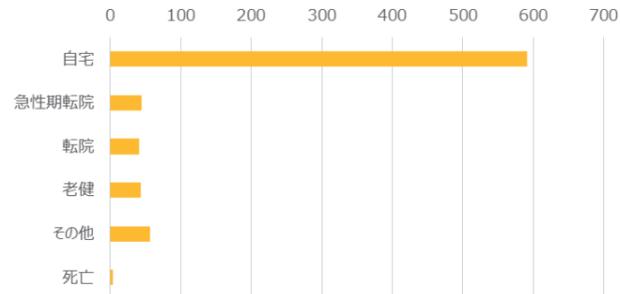
一般病棟 介護度



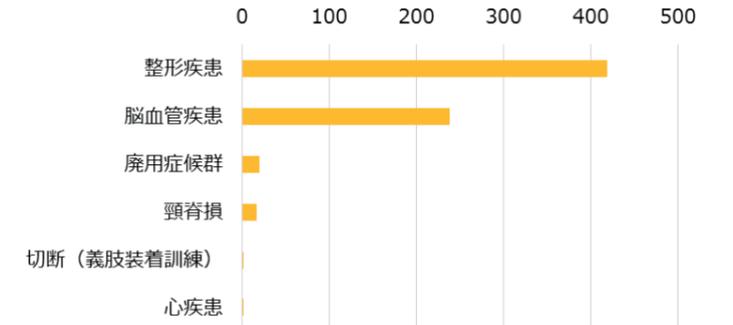
一般病棟 年齢別内訳



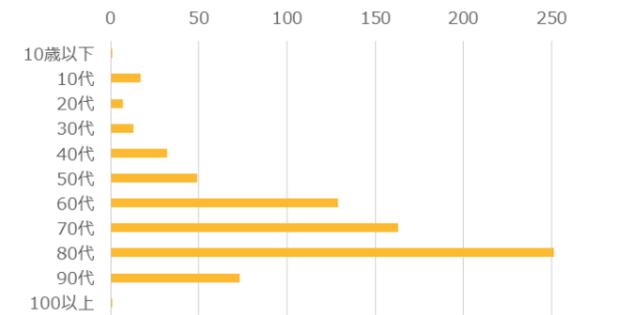
回復期リハビリテーション病棟 退院先内訳



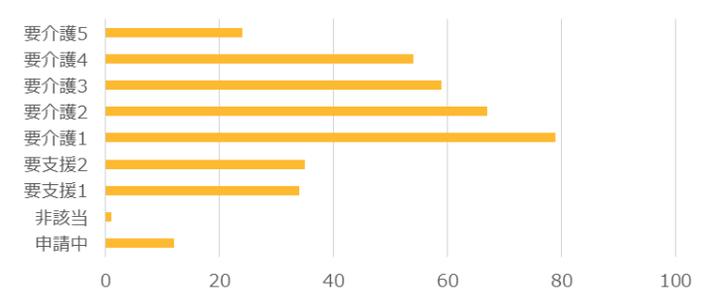
疾患別割合



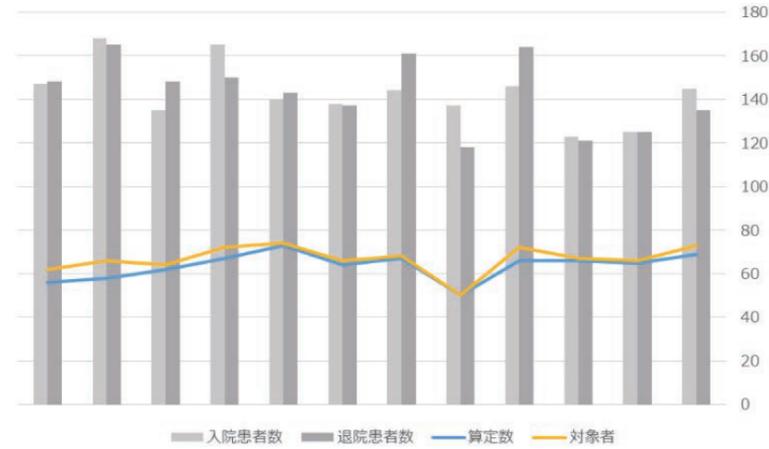
年齢別内訳



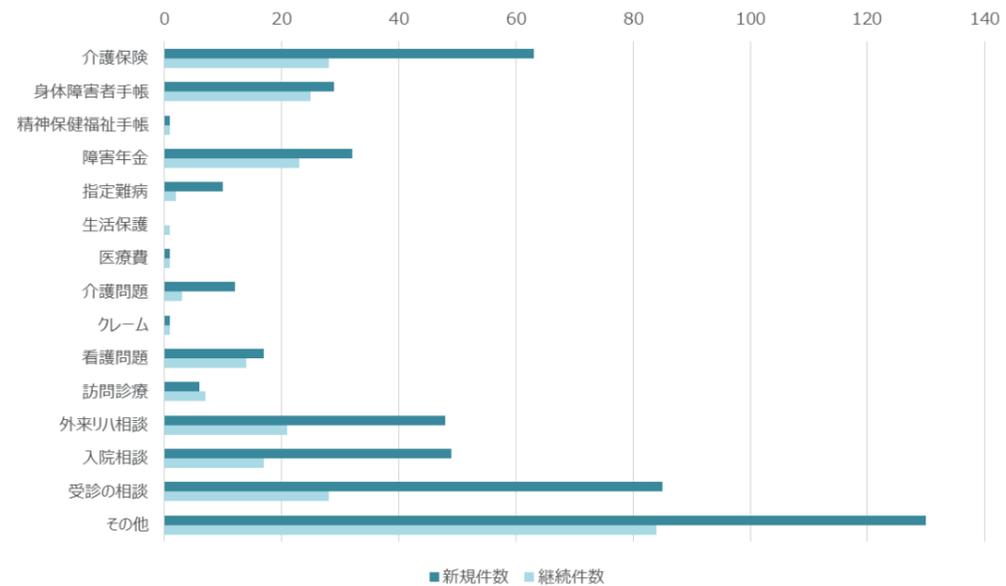
介護度



退院支援加算算定実績

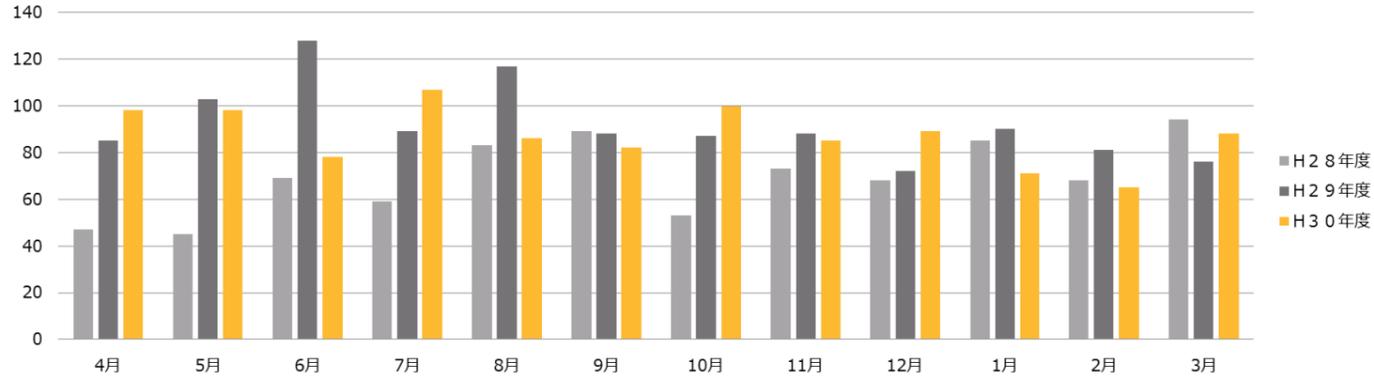


患者サポート外来 相談実績

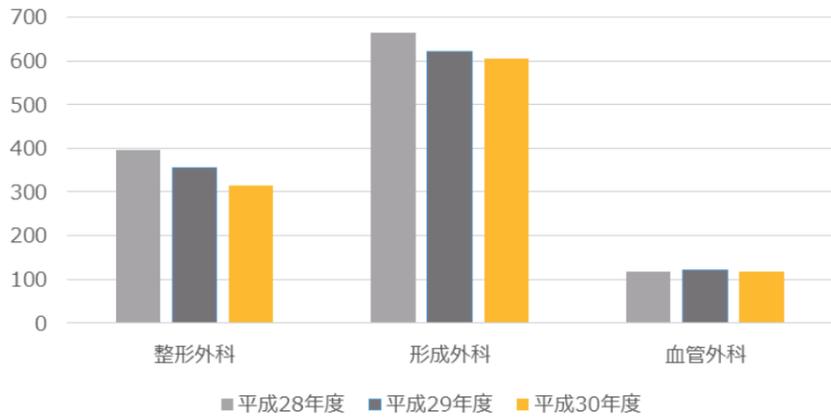


診療実績

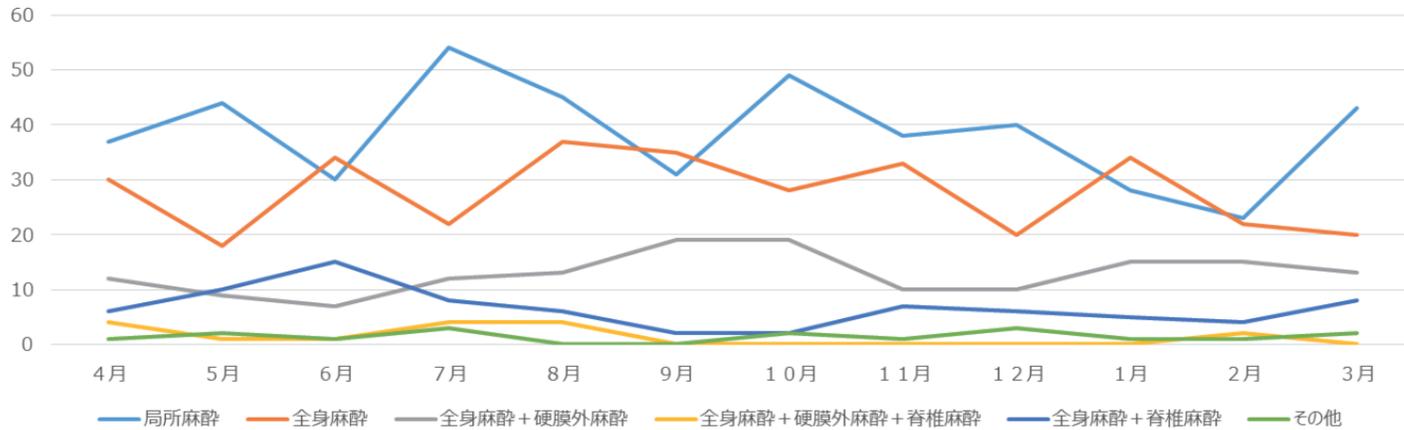
総手術件数



診療科別手術件数



麻酔別件数



診療実績

平成30年度 整形外科 手術件数		平成30年度 形成外科 手術件数		平成30年度 血管外科 手術件数	
術式	件数	術式	件数	術式	件数
骨折観血の手術	73	皮膚皮下腫瘍摘出術	183	下肢静脈瘤手術	47
人工関節置換術	72	創傷処理	171	四肢の血管拡張術・血栓除去術	44
骨内異物(挿入物)除去術	31	皮膚切開術	66	血管移植術5 バス移植術(下腿)	12
人工骨頭挿入術	25	デブリードマン	51	創傷処理	2
創傷処理	20	陥入爪手術	35	リリハ° 節摘出術	1
腱鞘切開術	20	分層植皮術	34	動脈血栓内膜摘出術	1
関節内骨折観血の手術	16	四肢切断術	14	計	107
骨移植術	16	全層植皮術	12	平成30年度 内科手術件数	
関節鏡下半月板切除術	12	動脈(皮)弁術	12	術式	件数
アキレス腱断裂手術	11	カクカ° リリハ° 摘出術	11	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	5
手根管開放手術	11	小児創傷処理	11	内視鏡的消化管止血術	5
骨折経皮的鋼線刺入固定術	8	皮弁作成術	11	経皮的内視鏡下胃瘻造設術	5
関節脱臼非観血の整復術	3	瘢痕拘縮形成手術	9	食道狭窄拡張術	0
人工関節再置換	3	筋(皮)弁術	8	気管切開術	0
一時的創外固定骨折治療術	2	眼瞼下垂症手術	6	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	0
観血の関節授動術	2	骨搔爬術	5	中心静脈栄養植込型カ° 設置	0
関節鏡下関節滑膜切除術	2	断端形成術(骨形成)	5	皮膚切開術1.長径10cm未満	1
関節鏡下関節鼠摘出手術	2	鼻骨骨折徒手整復術	5	計	16
関節内異物(挿入物含む)除去術	2	滑液膜摘出術	3	平成30年度 脳神経外科 手術件数	
骨盤内異物(挿入物)除去術	1	神経縫合術	3	術式	件数
神経移行術	1	爪甲除去術	3	水頭症手術(シャント手術)	1
神経剥離術	1	眼窩骨折観血の手術	2		
非観血の関節授動術	1	口唇腫瘍摘出術	2		
腱移行術	1	骨内異物(挿入物)除去	2		
計	336	神経腫切除術	2		
		先天性耳瘻管摘出術	2		
		頬骨骨折観血の整復術	2		
		腱鞘切開術	2		
		腱縫合術	2		
		腐骨摘出術	2		
		顎関節脱臼観血の手術	1		
		眼瞼結膜悪性腫瘍手術	1		
		骨移植術	1		
		四肢・躯幹部腫瘍摘出術	1		
		指瘢痕拘縮手術	1		
		耳介形成手術	1		
		神経再生誘導術	1		
		脊椎骨搔爬術	1		
		粘膜移植術	1		
		抜爪術	1		
		皮膚悪性腫瘍切除術	1		
		皮弁移動術1.(25平方cm未満)	1		
		複合組織移植術	1		
		鼻骨骨折整復固定術	1		
		観血の関節固定術	1		
		腱切離・切除術(関節鏡下)	1		
		耳介形成手術	1		
		毛巣洞手術	1		
		計	694		

論文・学会発表実績

医局

[論文・著書]

特集：最強の「カンファレンス」成功術 入院時初回カンファレンス

田中智香

リハビリナース第 12 巻 1 号

GHRELIN ACTIVATION BY INGESTION OF MEDIUM-CHAIN TRIGLYCERIDES IN HEALTHY ADULTS
: A PILOT TRIAL

Y. Yoshimura, S. Shimazu, A. Shiraishi, F. Nagano, S. Tominaga, T. Hamada, M. Kudo,
Y. Yamasaki, S. Noda, T. Bise"

Aging Res Clin Practice 2018;7:42-46

Systemic Inflammation in the Recovery Stage of Stroke : Its Association with Sarcopenia and Poor
Functional Rehabilitation Outcomes

Yoshihiro Yoshimura, Takahiro Bise, Fumihiko Nagano, Sayuri Shimazu, Ai Shiraishi,
Makio Yamaga, Hiroaki Koga

Progress in Rehabilitation Medicine 2018 Vol.3: 1-10

フレイル予防・介入法（運動, 栄養, その他）

吉村芳弘

日本サルコペニア・フレイル学会誌 Vol.2 No.1

サルコペニアの最新の知見：中鎖脂肪酸はサルコペニアに有効な栄養素か？

吉村芳弘

オレオサイエンス 18(8): 383-391, 2018

回復期リハビリテーションにおける栄養サポートの効果

吉村芳弘、山鹿眞紀夫、古閑博明

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2018 ; 55 : 309-316

サルコペニア診療ガイドライン 2017 とリハビリテーション

吉村芳弘、山鹿眞紀夫、古閑博明

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2018 ; 55 : 410-417

リハビリテーション栄養における機能性食品

吉村芳弘

機能性食品と薬理栄養 11(6): 403-409, 2018

ISPRM2018 レポートーリハビリテーション医学が最先端医学であるために

吉村芳弘

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2018 ; 55 : 1042-1043

脳卒中回復期高齢者に対する BCAA 強化栄養補助食品の日常生活動作の改善効果に関する

リハビリテーション患者に対する栄養療法

吉村芳弘

高齢者医療ハンドブック. 臨床雑誌「内科」121 巻 4 号 (2018 年 4 月増大号)

フレイルと嚥下

吉村芳弘

Modern Physician. 2018 Vol.35 No.5. 新興医学出版社

積極的な運動療法と栄養療法のハイブリッドでサルコペニアを治療する

吉村芳弘

MB Medical Rehabilitation No.224: 16-24, 2018 2018/06/01

私の処方：サルコペニア高齢者に対するリハビリテーションと栄養の処方箋

吉村芳弘

Modern Physician. 2018 Vol.35 No.5. 新興医学出版社 2018/06/01

サルコペニアの早期発見と治療：回復期リハビリテーション病棟

吉村芳弘

栄養と運動で予防するサルコペニア 2. 医歯薬出版 2018/07/01

フレイル・サルコペニアに対する運動とリハビリテーション

吉村芳弘

Clinical Calcium. 2018. Vo. 28, No.9. 医薬ジャーナル社 2018.08.01

この症状・症候は薬剤性？何を考え、どう対応するか？：サルコペニア

吉村芳弘

薬局 2018 年 9 月号. 南山堂 2018.09.01

リハビリテーションとフレイル・ロコモ

吉村芳弘

健康長寿フレイル① フレイルとロコモ 基本略編 先端医学社 2018.09.01

ISPRM2018 学会報告

吉村芳弘

Journal of Clinical Rehabilitation. 医歯薬出版 2018/10/01

経腸栄養法—MCT、中鎖脂肪酸（更新）

吉村芳弘

PDN オンラインレクチャー 2018/10/01

フレイルとサルコペニアについて

吉村芳弘

糖尿病ライフさかえ 2018 年 8 月号. 公益社団法人日本糖尿病協会 2018.10.01

第 4 章 フレイル／第 15 章 リハビリテーション栄養に役立つ資料

吉村芳弘

リハビリテーション栄養ポケットマニュアル. 医歯薬出版 2018/10/05

入院中に多職種で行う栄養療法：その役割を再確認する

吉村芳弘

レジデントノート 2018 年 11 月号 羊土社 2018.11.01

第 5 回日本サルコペニア・フレイル学会大会レポート

吉村芳弘

臨床栄養. 2019 年 1 月号. 医歯薬出版

Effects of a leucine-enriched amino acid supplement on muscle mass, muscle strength,
and physical function in post-stroke patients with sarcopenia: A randomized controlled trial.

Yoshimura Y, Bise T, Shimazu S, Tanoue M, Tomioka Y, Araki M, Nishino T, Kuzuhara A,
Takatsuki F.

Nutrition. 2019 Feb;58:1-6.

サルコペニア・フレイルを知っていますか

吉村芳弘

看護くまもと. 熊本県看護協会 2019.02.01

サルコペニア診療実践ガイド.

日本サルコペニア・フレイル学会編、吉村芳弘. 他

サルコペニア診療実践ガイド. ライフサイエンス出版 2019.02.22

医療者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

鹿児島県リハビリテーション施設協議会報 第 15 号 2019.03.01

Sarcopenia is associated with worse recovery of physical function and dysphagia and a lower rate of home discharge in Japanese hospitalized adults undergoing convalescent rehabilitation.

Yoshimura Y, Wakabayashi H, Bise T, Nagano F, Shimazu S, Shiraishi A, Yamaga M, Koga H.

Nutrition. 2019 May;61:111-118.

脳卒中サルコペニアと口腔問題の関連

白石愛、嶋津さゆり、辻友里、吉村芳弘

栄養-Trends of Nuttttion-. 2018.Vo13 No1

運動療法と食事療法

上野いずみ、吉村芳弘

糖尿病食事療法パーフェクト指導 BOOK. 糖尿病ケア 2018 秋季増刊号. メディカ出版 2018.11.01

Impaired oral health status on admission is associated with poor clinical outcomes in post-acute inpatients: A prospective cohort study.

Shiraishi A, Yoshimura Y, Wakabayashi H, Tsuji Y, Shimazu S, Jeong S.

Clin Nutr. 2018 Nov 30. pii: S0261-5614(18)32553-6.

Hospital dental hygienist intervention improves activities of daily living, home discharge and Mortality in post-acute rehabilitation.

Shiraishi A, Yoshimura Y, Wakabayashi H, Tsuji Y, Yamaga M, Koga H.

Geriatr Gerontol Int. 2019 Mar;19(3):189-196.

熊リパワーライスは脳卒中回復期の栄養状態や機能的予後を改善する

嶋津さゆり、吉村芳弘、上野いずみ、工藤舞、白石愛、備瀬隆広、長野文彦、濱田雄仁

JSPEN. 2019. In Press

起立着席運動は脳卒中回復期の機能的予後を改善する

長野文彦、吉村芳弘、備瀬隆広、嶋津さゆり、白石愛、河崎靖範、槌田義美、田中智香、

山鹿真紀夫、古閑博明

日本サルコペニア・フレイル学会誌. 2019. In Press

Chapter 4 Treatment of sarcopenia: Sarcopenia Clinical Guideline 2017

Arai H, Wakabayashi H, Yoshimura Y, Yamada M, Kim H, Harada A.

Geriatr Gerontol Int. 2018 May;18 Suppl 1:28-44.

長期介護を要する高齢者の低栄養, 嚥下障害, サルコペニア

山内杏奈、吉村芳弘、松本由美

日本リハビリテーション栄養学会誌. Vol.2 No.2 2018 10

脳卒中回復期高齢者に対する BCAA 強化栄養補助食品の日常生活動作の改善効果に関する

準ランダム化介入研究

藤井 鈴、吉村芳弘、山出宏一、三田和広、山下修平

日本リハビリテーション栄養学会誌. 2019. In Press

Effects of branched-chain amino acids and vitamin D supplementation on physical function, muscle mass and strength, and nutritional status in sarcopenic older adults

undergoing hospital-based rehabilitation: A multicenter randomized controlled trial

Takeuchi I, Yoshimura Y, Shimazu S, Jeong S, Yamaga M, Koga H

Geriatr Gerontol Int. 2019 Jan;19(1):12-17.

Sarcopenia and dysphagia: Position paper by four professional organizations.

Fujishima I, Fujiu-Kurachi M, Arai H, Hyodo M, Kagaya H, Maeda K, Mori T, Nishioka S,

Oshima F, Ogawa S, Ueda K, Umezaki T, Wakabayashi H, Yamawaki M, Yoshimura Y

Geriatr Gerontol Int. 2019 Feb;19(2):91-97.

Validity of predictive equations for resting energy expenditure in sarcopenic older adults in long-term care.

Anna Yamanouchi, Yoshihiro Yoshimura, Yumi Matsumoto, Seungwon Jeong

Journal of Japanese Association of Rehabilitation Nutrition. 2019. In Press

Risk of malnutrition is associated with poor physical function in patients undergoing cardiac rehabilitation following heart failure.

Matsuo H, Yoshimura Y, Fujita S, Maeno Y.

Nutr Diet. 2019 Feb;76(1):82-88.

【学会発表】

頸椎後方固定術後の嚥下障害に対し喉頭気管分離術を実施した 1 症例

A case of laryngotracheal separation after posterior cervical fixation

西坂慎也

第 55 回日本リハビリテーション医学会学術集会 2018/06/28

Effects of a leucine-enriched amino acid supplement on muscle mass and physical function in post-stroke patients with sarcopenia: a randomized controlled trial

吉村芳弘

第 55 回日本リハビリテーション医学会 English Session 2018.06.30

Systemic inflammation in recovery stage of stroke: its association with sarcopenia and poor functional rehabilitation outcomes

Yoshihiro Yoshimura, Takahiro Bise, Fumihiko Nagano, Sayuri Shimazu, Ai Shiraishi,

Makio Yamaga, Hiroaki Koga

12nd International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress

(ISPRM 2018), Paris, France 2018.07.10

重症嚥下障害患者に対する干渉波電気刺激を用いた長期治療経験 (症例報告)

齊藤智子

第 56 回熊本摂食嚥下リハビリテーション研究会 第 30 回 PEG ケアカンファレンス熊本 2018/07/17

回復期病院の病棟での排便管理～現状調査と腹部マッサージの経験報告～

齊藤智子、南 由紀

第 21 回くまもと食と排泄を考える会 2018/08/23

健康成人における中鎖脂肪の経口摂取とグレリン活性化

吉村芳弘

第 34 回日本静脈経腸栄養学会サイエンスのセッション 2019.02.14

サルコペニアは回復期における身体機能や嚥下障害の改善、自宅退院率と負の関連がある

吉村芳弘

第 34 回日本静脈経腸栄養学会要望演題 2019.02.15

サルコペニア脳卒中高齢者に対する高ロイシン必須アミノ酸の臨床効果：ランダム化比較試験

吉村芳弘

第 34 回日本静脈経腸栄養学会シンポジウム 2019.02.15

「集団起立訓練」～もっと良くなりたい人のために～

シンポジウム：回復期リハビリテーション病棟における余暇時間のかかわりを考える

田中智香

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/22

[講演]

サルコペニア診療ガイドライン 2017 の概要と今後の展望：特に医原性サルコペニア予防と

サルコペニアの治療的介入について

吉村芳弘

第 5 回日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会学術集会 2018.04.14

サルコペニア診療ガイドライン 2017 とリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 24 回下野栄養管理研究会. 自治医科大学 2018.04.18

Nutritional management of sarcopenia

吉村芳弘

Thai Dietic Association 2018 (TDA, タイ栄養学会)、バンコク 2018.04.25

CKD 患者のサルコペニア

吉村芳弘

第 5 回北九州腎栄養研究会 2018.05.10

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

日総研セミナー 岡山 2018/05/12

サルコペニア

吉村芳弘

第一三共製薬熊本支社社内勉強会 2018.05.14

フレイル・サルコペニアの最新の話

吉村芳弘

東京都葛飾区医師会講演会（第 6 回地域包括ケア多職種セミナー） 2018.05.15

サルコペニアの最新の話とリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 10 回相模原北部栄養地域連携の会 2018.05.22

サルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

阪南病院院内勉強会 2018.05.28

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

第 82 回北九州栄養薬物研究会 2018.06.07

サルコペニア・フレイルの栄養管理と MCT

吉村芳弘

第 6 回日本在宅栄養管理学会学術ランチョンセミナー 2018.06.09

サルコペニア診療ガイドライン 2017 とリハビリテーション栄養

吉村芳弘

唐津東松浦薬剤師会研修会 2018.06.11

サルコペニアの最新の話とリハ栄養

吉村芳弘

第 28 回広島 NST を本気で考える会 2018.06.16

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

日総研セミナー名古屋 2018.06.23

サルコペニア診療ガイドライン 2017 とリハビリテーション

吉村芳弘

第 55 回日本リハビリテーション医学会教育講演 2018.06.30

サルコペニアに対するリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 24 回日本心臓リハビリテーション学会 2018.07.15

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

日総研セミナー東京 2018.07.21

在宅看護で知っておくべきサルコペニア・フレイルとリハ栄養

吉村芳弘

第 49 回日本看護学会在宅看護学術集会ランチョンセミナー 2018.07.27

サルコペニア診療ガイドライン 2017 とリハビリテーション栄養

第 111 回藤田医科大学七栗リハビリテーションセミナー 2018.07.30

吉村芳弘

臨床研究のすすめ

吉村芳弘

熊本リハビリテーション病院リハビリテーション部勉強会 2018.08.17

がん患者に対するリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第3回がん理学療法カンファレンス 2018.08.18

サルコペニアと地域リハビリテーション

吉村芳弘

平成30年度別府リハビリテーション病院地域リハビリテーションセミナー 2018.09.03

サルコペニア診療ガイドラインとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

前橋赤十字病院地域連携講演会 2018.09.14

サルコペニア診療ガイドライン2017とリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第22回長崎県NST研究会 2018.09.15

回復期のNST最前線：サルコペニア・フレイル対策

吉村芳弘

CRASEED リハプロセミナー2018（兵庫医科大学） 2018.09.22

サルコペニア診療ガイドラインとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

留萌市栄養研究会 2018.09.28

サルコペニア診療ガイドラインとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第17回道北ブロックNST研究会 2018.09.29

健康寿命を伸ばす

吉村芳弘

NHK 健康応援フェスタ福岡 2018.09.30

脳卒中ナースが知っておくべきサルコペニアとフレイル

吉村芳弘

第45回脳神経看護研究学会ランチョンセミナー 2018.10.13

サルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第5回日本予防理学療法学会学術集会ランチョンセミナー 2018.10.20

サルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第5回愛仁会グループリハビリテーション研究大会 2018.10.21

CKDとサルコペニア

吉村芳弘

第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会ジョイントシンポジウム 2018.11.02

サルコペニアとリハビリテーション栄養：中鎖脂肪酸の臨床応用

吉村芳弘

第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会ランチョンセミナー 2018.11.10

栄養（食）しっかり！フレイル予防

吉村芳弘

第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会市民公開講座 2018.11.11

医療従事者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

呉共済病院 2018.11.14

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

日総研セミナー大阪 2018.11.17

STが知っておくべきリハビリテーション栄養

吉村芳弘

群馬県言語聴覚士会第3回学術研究発表会 2018.11.18

医療従事者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

竹田総合病院院内講演会 2018.11.26

アマチュアボクシング（高校生）につて

彌富親秀

熊本神経外傷てんかん研究会 2018/12/08

医療従事者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

稲城台病院院内講演会 2018.12.08

サルコペニア診療ガイドライン2017と栄養管理への活用法

吉村芳弘

福岡県栄養士会 2018.12.09

サルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

徳山リハビリテーション病院院内講演会 2018.12.10

栄養素の生化学・代謝、ワークショップ

吉村芳弘

TNT（Total Nutrition Therapy）研修会 福岡 2018.12.15

サルコペニアに対する栄養治療

吉村芳弘

第22回日本病態栄養学会年次学術集会合同パネルディスカッション 2019.01.12

元気な高齢者を目指して－フレイル、サルコペニアってなんだろう

吉村芳弘

百道浜校区社会福祉協議会健康講座 2019.01.19

現場で生かす栄養改善とチームアプローチ：サルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第3回福岡市東区栄養研修会 福岡みらい病院

攻めのリハビリテーション栄養と人間回復

吉村芳弘

ねりま医療連携セミナー ねりま健育会病院 2019.01.21

リハビリテーション栄養

吉村芳弘

熊本県栄養士会 2019.01.23

医療者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

平成 30 年度鹿児島県リハビリテーション施設協議会 第 3 回研修会 2019.01.25

看護師が知っておくべきサルコペニアの知識と対策

吉村芳弘

熊本県看護協会 2019.01.26

サルコペニア・フレイルに対する栄養管理

吉村芳弘

第 7 回宮城県東部栄養サポートネットワーク講演会 2019.02.05

リハビリテーションで実感する栄養治療の効果

吉村芳弘

第 34 回日本静脈経腸栄養学会ランチョンセミナー 2019.02.14

サルコペニアに対するリハビリテーションと栄養治療

吉村芳弘

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 (舞浜) ランチョンセミナー 2019.02.22

医療従事者が知っておくべき入院患者のサルコペニアとリハ栄養

吉村芳弘

佐賀県医療センター好生館院内講演会 2019.02.25

CKD とリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 9 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 2019.03.10

フレイルとサルコペニア

吉村芳弘

日総研セミナー東京 2019.03.19

脳卒中診療で知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 44 回日本脳卒中学会学術集会ランチョンセミナー 2019.03.22

医療者が知っておくべきサルコペニアとリハビリテーション栄養

吉村芳弘

第 29 回北薩がん医療ネットワーク 2019.03.29

[取材]

「筋肉 100 年物語」人生 100 年時代を健康に生き抜く知恵とは

吉村芳弘、5 病棟スタッフ、NST

BS 日テレ (放送 8 月 26 日)

リハビリテーション栄養と中鎖脂肪酸

吉村芳弘、5 病棟スタッフ、NST

NHK E テレ (放送 9 月 15 日)

早期退院・社会復帰をめざすリハビリテーションへつなぐ嚥下食 II (ソフト食) (巻頭グラビア)

嶋津さゆり、吉村芳弘、栄養科スタッフ

ヘルスケアレストラン 2018 年 12 月号、日本医療企画 2018.12.01

脳卒中後も食事の訓練

砂原たか子、吉村芳弘

読売新聞 医療ルネッサンス (掲載 2 月 22 日)

[熊リハ・サンライズビル合同研究発表会]

当院で“心臓リハビリテーション”に取り組んで

～2017 年 10 月以降 1 年間の進捗状況と今後の展開～

上拾石秀一

リハビリテーション部

[論文・著書]

リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック

槌田義美

メジカルビュー社 2018.09.10

脳卒中患者の骨格筋量は歩行獲得の独立した予測因子である

長野文彦

"学会誌 JSPEN 1(2): 70-78, 2019 "

起立着席運動は脳卒中の回復期患者の機能的予後を改善する

長野文彦

日本サルコペニアフレイル学会誌. 2019/03/12

[学会発表]

回復期リハビリテーション病棟入院中に誤嚥防止術を施行し ADL が向上した症例

藤本多恵

第 19 回日本言語聴覚学会 2018/06/22

脳血管障害患者における退院時運動 FIM 予測式の内的妥当性の検証

長野文彦

第 167 回 熊本リハビリテーション研究会 2018/07/07

感覚障害を有する脳卒中片麻痺患者の歩行介助位置について

西野剛史

第 167 回 熊本リハビリテーション研究会 2018/07/07

総合事業における目標設定の有効性

荒木麻衣

リハビリテーションケア合同研究大会米子 2018 2018/10/03

脳卒中患者の骨格筋量と歩行自立,自宅復帰の関連について

長野文彦

第 5 回日本予防理学療法学会学術大会 2018/10/20

全身性炎症は脳卒中回復期の骨格筋量や機能的予後に関連する

備瀬隆広

第 5 回日本予防理学療法学会学術大会 2018/10/20

回復期リハビリテーション病棟における骨格筋量と脳卒中患者の帰結の関連

長野文彦

第 5 回日本サルコペニアフレイル学会大会 2018/11/10

理学療法士が行うリハ栄養評価とは？「回復期理学療法士の立場から」

備瀬隆広

第 8 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 2018/12/1

総合事業における目標設定の有効性

荒木麻衣

第 168 回熊本リハビリテーション研究会 2018/12/01

脳卒中患者の骨格筋量は歩行自立の独立した予測因子である

長野文彦

第 22 回熊本県理学療法士学会 2018/12/16

全身性炎症は脳卒中回復期の骨格筋量や機能的予後に関連する

備瀬隆広

第 22 回熊本県理学療法士学会 2018/12/16

感覚障害を有する脳卒中片麻痺患者の歩行介助位置について

西野剛史

第 22 回熊本県理学療法士学会 2018/12/16

病識が低下した高次脳機能障害患者への関わり

宮崎千加

第 15 回熊本作業療法学会 2019/01/20

起立着席運動はサルコペニアを有する脳卒中患者の機能的予後,サルコペニアを改善する

長野文彦

第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/14

位相角(phase angle)は脳卒中回復期患者の骨格筋量や機能的予後と関連する

備瀬隆広

第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/14

回復期脳卒中嚥下障害患者における、サルコペニアと誤嚥性肺炎発症との関連

濱田雄仁

第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/14

回復期脳卒中患者における低体重が退院時 ADL に及ぼす影響

葛原碧海

第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/14

サルコペニアは退院後の生活空間に影響するか

木戸善文

第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/14

起立着席運動は脳卒中患者のサルコペニアを改善する

長野文彦

回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

起立着席運動は脳卒中患者の機能的予後を改善する

岡村隆一郎

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

脂肪量指数は脳卒中患者の機能的予後に関連するか

尾崎大地

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

起立-着席運動は脳卒中患者の認知レベルを改善する

岩永友里

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

【講演】

『介護予防の運動』 効率的で簡単な“ながら運動”～筋力アップで延ばそう“健康寿命”～

槌田義美

よんなっせ カフェ（おおづセンターホーム） 2018.07.05

高齢者の理学療法

槌田義美

熊本県理学療法士協会 新人教育研修会 2018/08/05

内部障害の理学療法

河崎靖範

熊本県理学療法士協会 新人教育研修会 2018/08/05

内部障害の理学療法

河崎靖範

熊本県理学療法士協会 新人教育研修会 2019/01/05

【熊リハ・サンライズヒル合同研究発表会】

脳卒中患者の骨格筋量と歩行自立の関連について

長野文彦

全身性炎症は脳卒中回復期の骨格筋量や機能的予後に関連する

備瀬隆広

看護部

[学会発表]

排尿自立指導を開始して、現状と今後の課題

小堀加菜恵

第 31 回老年泌尿器科学会 2018/05/12

A 病院における職員とその親を対象とした事前指示書に関する意識調査の現状

野田小百合

日本家族看護学会 2018/09/01

整形外科手術における PONV の実態と関連要因

園田祐子、荒川康子

第 49 回日本看護学会学術集会 急性期看護 2018/9/7

脳卒中患者の自宅退院に影響を及ぼす要因～FIM 項目に着目して～

高橋美貴、砂原貴子、渡邊多恵子

第 49 回日本看護学会学術集会 慢性期看護 2018/9/27

看護師・介護福祉士による誤嚥性肺炎予防の実践と効果

霍田啓子、祝迫 渚、大窪しおり

日本リハビリテーション看護学会学術大会 2018/11/23

排便促進プログラムの実施と評価～下剤に頼らない排便ケアを試みて～

青木昭喜子、皆吉あづさ、蓑田美幸

回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

離床センサー中止基準の適正調査 ～センサー中止判断の遅延に関する因子の検証～

池邊征和

回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 2019/02/21

[講演]

NST 導入について、チームの役割

小堀加菜恵

成尾整形外科病院 2018/08/10

「サルコペニアについて」事例紹介

小堀加菜恵

熊本県看護協会 2019/01/26

[熊リハ・サンライズヒル合同研究発表会]

排尿自立指導を開始して、現状と今後の課題

小堀加菜恵

看護師・介護福祉士による誤嚥性肺炎予防の取り組み

霍田啓子

栄養管理科

[論文・著書]

栄養素に注目！MCT と熊リハパワーライス

嶋津さゆり

Nutrition Care 2018/05/10

Q3 サルコペニアってどんな状態？ Q4 サルコペニアの診断とは？治療とは？

工藤 舞、嶋津さゆり、吉村芳弘

Nutrition Care 11(8), 2018

[学会発表]

多職種連携による口から食べる前からの積極的介入。サルコペニアと低栄養改善への取り組み

嶋津さゆり

第 15 回日本口腔ケア学会学術大会 2018/04/28

症例検討

嶋津さゆり

熊本県立大学環境共生学部 2018/07/05

災害時における食事管理（シホ°ジウム）

嶋津さゆり

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 2018/09/08

歯科衛生士部会シンポジウム 回復期病棟のチームアプローチ

嶋津さゆり

日本リハビリテーション栄養学会 2018/12/01

サルコペニアの脳卒中回復期患者におけるエネルギー摂取量とリハビリテーションの

機能的予後との関連

嶋津さゆり

第 34 回日本静脈経腸栄養学会 2019/02/14

脳卒中回復期における高蛋白質摂取と積極的なリハビリテーションは機能的予後を改善する

工藤 舞

第 34 回日本静脈経腸栄養学会 2019/02/14

[講演]

リハビリテーションと栄養管理

嶋津さゆり

愛媛県栄養士会 2018/06/10

病院の栄養管理について

嶋津さゆり

熊本県立大学環境性学部 2018/06/28

リハビリテーション栄養

嶋津さゆり

福岡みらい病院 研修会 2018/08/04

NST の実際

嶋津さゆり
成尾整形外科病院院内研修会 2018/08/10
回復期病棟における管理栄養士のかかわり
嶋津さゆり
兵庫医大主催研修会 2018/09/22
食形態のポイント
嶋津さゆり
長崎県栄養士会 2018/09/29
訪問するうえで必要な栄養管理知識
嶋津さゆり
熊本県看護協会 2018/10/03
高齢者を低栄養からまもるリハ栄養
嶋津さゆり
医療介護福祉栄養セミナー 2018/10/20
高齢者の栄養管理と熊リハパワーライスのすすめ
嶋津さゆり
稲城台病院 研修会 2018/12/08

[取材]

嚥下食について
嶋津さゆり 栄養管理部スタッフ
ヘルスケアレストラン 2018/10/24

薬剤部

[熊リハ・サンライズヒル合同研究発表会]

回復期の脳卒中の多剤内服はリハビリテーションの帰結に影響を与えるか
土屋祐輔

歯科診療部

[論文・著書]

2, 高齢者の摂食嚥下機能, オーラルフレイル. サルコペニアの摂食嚥下障害 Update.

白石 愛
日本リハビリテーション栄養学会誌 2(1): 21-25, 2018.4
脳卒中サルコペニアと口腔問題との関連-早期経口摂取のための口腔スクリーニングの重要性
白石 愛、嶋津さゆり、辻 友里、吉村芳弘
第 40 回日本栄養アセスメント研究会推薦論文 2018/05/01

脳卒中の症状に応じて口腔ケアは変わるの？. 脳卒中の病態と栄養管理のポイント

白石 愛
Nutrition Care 11(9): 36-38, 2018

経口摂取は最良の栄養療法！

白石 愛
PDN 通信. 2018 10 月号 (第 65 号) .p12-13
第 39 回 ESPEN Congress 参加報告記.
平成 30 年度一般社団法人日本静脈経腸栄養学会フェローシップ賞受賞者学会参加記
白石 愛
日本静脈経腸栄養学会雑誌 33(5): 1195-1197, 2018
口の健康とフレイル予防
白石 愛
荒井秀典編著. フレイルのみかた. 中外医学社. P92-97. 2018
Impaired Oral Health Status on Admission is Associated with Poor Clinical Outcomes in Post-Acute inpatients : A Prospective Cohort Study
Ai Shiraishi, Yoshihiro Yoshimura, Hidetaka Wakabayashi, Yuri Tsuji, Sayuri Shimazu, Seungwon Jeong
Clical Nutrition. 2018 Nov 30. pii: S0261-5614(18)32553-6
Hospital dental hygienist intervention improves activities of daily living, home discharge and mortality in post-acute rehabilitation
Ai Shiraishi, Yoshihiro Yoshimura, Hidetaka Wakabayashi, Yuri Tsuji, Makio Yamaga, Hiroaki Koga
Geriatrics Gerontology International 19(3): 189-196, 2019.3
病棟における口腔管理の最前線から
白石 愛
週刊医学会新聞 3311 号、3315 号

[学会発表]

小さな避難所からのメッセージ～歯科衛生士の立場から

白石 愛
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 2018/09/09

歯科衛生士の臨床効果

白石 愛、吉村芳弘、嶋津さゆり、辻 友里、備瀬隆広
第 5 回日本サルコペニアフレイル学会 2018/11/10

入院患者における歯科衛生士の専門的口腔管理の臨床効果

白石 愛、吉村芳弘、辻友里、嶋津さゆり、備瀬隆広、長野文彦、工藤 舞、若林秀隆
第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019/02/15

[講演]

症例別の口腔ケアの実践～認知症・開口障害の視点から

白石 愛
リフレケアセミナーIn 宮崎 2018/04/21

口腔ケア 各論

白石 愛

長崎摂食嚥下リハビリテーション研究会定例研修会 2018/07/21

高齢者のサルコペニア・低栄養とオーラルマネジメント

白石 愛

医療・介護福祉用具・食品総合展示会 2018/10/20

回復期におけるオーラルマネジメント

白石 愛

第9回東京オーラルマネジメント研究会 2019/02/24

医療安全管理室

【学会発表】

医療安全管理業務のシステム化と情報共有システムの構築

山下紘子、平川裕章

日本医療マネジメント学会 第21回熊本支部学術集会 2019/03/16

地域連携部

A病院における職員とその親を対象とした事前指示書に関する意識調査の現状

野田小百合、大谷久江

日本家族看護学会 2018/09/01

【熊リハ・サンライズヒル合同研究発表会】

外来から始まる入退院支援

青山美希

事務部

【学会発表】

出張手配方法の見直し

坂本和歌子

平成30年度第13回事務管理研究会 2018/08/18

回復期リハ病棟実績指数37以上確保への取組み

河口博基

平成30年度第13回事務管理研究会 2018/08/18

【熊リハ・サンライズヒル合同研究発表会】

医療安全管理業務のシステム化と情報共有システムの構築

平川裕章

